巻末資料 3. プロジェクト実行計画

ANNEX V	PLAN OF OPERATIONS FOR WHOLE PERIOD	ATIONS	OR V	VHOLE	PERI	OD	Note: (Ex	The number Establishi	Note: The number in each item indicates "Activity Number" in PDM, (Ex. Establishing the management system of the Institute 6-2)	ind cates "A pement system	otivity Nu m of the In	mber " in istitute	PDM. 6-2)
ITEMS	YEAR	1996		1997		1998	_	1999		2000		200	_
Term of	Term of cooperation				+			- -		+	+		
Consulta	Consultation / Evaluation teams		*			Inter	Interim evaluation			Final	a evaluation ★	8	
	Joint Committee				*		*		*		*		
1 tems Establishin	og the management system of the institute										,		
Formalizing	Formalizing the procedure of cumculum development. 1-1												
	1 st	®	1 ©	(e)									
	2 nd	© -	<u></u>	@	6	@							
	3 rd		0	⊕	<u> </u>	9	-	•					
Operation of course:	Operation of courses on enrollment basis 4 th				9	6	6	† -	9	4			
(Only "Day-time cot	(Only "Day-time courses" are shown here) 5 th						Θ	©	0	•	6		
	6 th		_				•		6	6	6	(A)	
	7 th	 I			- : -							@ 	
Development of Basic course	sic course	Revinda	Revision	Revision	Revision	Revision Re-	Lenisian Revi	Revision Re	Security 1	levision	Revision	Kevision	
	(a) Information systems engineering	Special curiculum	5	re 1st enrolled students De jetopment of plot curriculum	Ę								
Development of	(b) System and network programming	- 	ł	Implementation of pilot curriculum Evaluation and F	of pilor cumbusure Evaluation and	of pilo currenum Evaluation and Revision of prot curriculum	curriculum					-	
	(c) Intelligent decision system				* 	implementation of revised curriculum	evised curriculum	 					
,	(a) Robotics		sempas *	# Start	* Seminer		* Seminar		★ Seminar		- X	eminar	
	(b) Artificial intelligence			A State		* Seminar	nar			*	Seminar	···-	
	(c) Multimedia		*	* Staff	*	Seminar	Sominar		* Seminar	minar		.★ Seminar	
Establishment of laboratories	(d) Database			★ Start		* Conference			¥ Seminar	Tatal			
	(e) Network		*	Start/Seminar		* Conference						Semina	·
	(f) Electronics	(*Started in 1994)					*	Seminar		* Seminar			Serninar
	(g) Language	(**Started in 1994)		* Conference	ğ			¥.	Saminar				*
Others	Supercomputing etc. 3-5		Samina	nstalation	A Samira	Prograd	* Seminer		★		¥ Semina	Ē	
					-			-		-			

巻末資料 4. プロジェクト経緯表

プロジェクト経緯表

	7	
時期		経 緯
1985		コンピュータ利用専門家協会が設立される。
1989		同協会の有志により、コンピュータ技術開発財団が創立される。
1991		コンピュータ技術開発財団が、科学研究委員会の傘下に入る。
1992	9	JICA 個別短期専門家(埼玉大学井門助教授)がポーランド商工省電気工学研究所に派遣され、この時期に Dr. NOWACKI (現ポーランド・日本情報工科大学長) とコンタクト。
1993		コンピュータ技術開発財団は、科学研究委員会より独立して公益法人となる。
	6	コンピューター技術開発財団より、長期専門家2名の派遣要請がなされる。
		また、当財団よりポーランド・日本情報工科大学 (以下、ポ日大と略称) 設立のための食
		料援助見返資金使用要請が在日本大使館になされる(1,193 千ドル)。
	7	在ポ日本大使館より、1994 年度新規プロ技協要望調査票が外務本省宛提出される。
		(「コンピュータ教育」を含む2件)
	11	食料援助見返資金の第一回目供与(1,193 千ドル)が承認される。
	12	ポ・日情報工科大学設立委員会が設置される。
1994	1 ·	JICA 個別短期専門家 (茨城大学辻助教授) がコンピューター技術開発財団に派遣される。
		校舎用不動産物件の選択、教室・実習室の設計アドバイスを行う。
	2	校舎が決定(ワルシャワ市教育委員会所有地にある孤児院の一部および隣接する建物)。
		JICA 個別長期専門家(京都コンピュータ学院東保氏)が派遣され(任期2年間)、
		ポ日大設立に関するアドバイスおよびカリキュラム作成支援。
		本プロジェクト案件が、1994 年度事前調査対象候補案件となる。
	3	JICA 個別長期専門家(日本電子専門学校平宮氏)が派遣される(任期1年間)。
		ポ日情報技術学校(ポ日大の前身)設置認可申請。
	4	ポ日情報技術学校設置が認可される。
	5	国民教育省に対し、大学設置許可申請を提出。仮教室改造工事開始および最初の諸機材(コ
		ンピュータ、ネットワーク)入札。ポ日大学学則・教育プログラムが作られた。
	6	初年度入学生募集開始。高校生ソフトウェアコンテスト。
		在ポ日本大使館より、東保・平宮両専門家からの説明として、ポ日大設立準備状況報告が
		届く。
		上記照会に対し、外務本省より「協力対象が私立大学である限り政府ベースでの協力は困
		難」である旨通報。
	7	校舎改築工事着工。
1994	8	在ポ日本大使館より、ポ日大開校準備状況報告が届くとともに、同大学の公的色彩、
		運営委員会へのポ政府の関与につき日本側の方針を照会してくる。
	10	ポーランド・日本情報工科大学開校。
	11	国民教育省よりポ日大設置が認可され正式に発足。
Ī		在ポ日本大使館より、ポ日大の開校後の状況報告が届く。

	12	外務本省より、1994 年度第4四半期に事前調査を実施すること、政府機関の公的関与・
		指導が可能となる体制確保が不可欠であることの旨通報。
		第]回ポ日大評議会が開催され、J.P.Novacki 博士が初代学長に就任。
1995	2	在ポ日本大使館経由で、プロジェクト方式技術協力についての正式要請書が届く。
	4	事前調査団派遣。
	6	在ポ日本大使館より、「本件プロジェクトに関して、国民教育省が最終責任を持つ」旨の
		ポーランド側からの回答が届く。
		知的システム・シンポジウム(Augustow 95)が SRSO 他と共催で開催される。
•	7	JICA 個別短期専門家(埼玉大学金杉助手)が派遣される。
	8	ポ日大副学長 Dr. JANKOWSKI が、C / P 研修で来日(1カ月間)。
		埼玉大学工学部長森末教授が国際学会の途次、ポ日大を訪問。
	9	中・東欧ネットワーク・セミナー、NASK と共催。
	10	ポ日大新校舎完成、第2期生入学。
		長期調査団派遣。
		JICA 個別短期専門家(埼玉大学前川助教授)が派遣される。
	12	SuperComputing 95(San Diego)へ埼玉大学と共同出展。
1996	3	実施協議調査団派遣。3月8日のR/D署名により、即日プロジェクト開始となる。
		国民教育省次官 Prof. PRZYBYSZ および高等教育局次長 Dr. POPLONKOWSKI が個別
		一般研修により来日。
	4	チーフアドバイザー(埼玉大学井門助教授)着任(任期 1 年間)。
		プロジェクト調整員増田氏着任(任期2年間)。
		個別長期専門家であった東保氏は、引き続き本プロジェクト長期専門家として従事。
	7	短期専門家(埼玉大学近藤助教授・鎌田助教授・金杉助手)が派遣される。
	8	Mr. SZCUKA , Mr. SLEZAK の 2 名の C / P が、埼玉大学で研修(4 カ月間)。
	9	ポ日大第3期生入学(昼・夜間あわせて新入生300名を越える)。
		食糧援助見返資金の第2回目の使用(1,129.8 千ドル)が承認される。
		ポーランド最初の類似高等教育機関であったフランス・ポーランド 情報通信大学が閉鎖
		される。
		埼玉大学大嶋教授が国際学会の途次、ポ日大を訪問。
		JICA 佐藤理事がポ日大を視察。
	10	短期専門家(埼玉大学山根助教授)が派遣される。
		長期専門家(茨城大学吉田助教授)着任(任期1年間)。
1997	2	JICA プロジェクトリーダ会議(井門リーダ出席)。

		TO 16 - FO 15 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
1997	3	現地調達機材(ロボット、パソコン、ワークステーション等)設置。
		各専攻に関するセミナーが開催される。
	:	兵藤大使臨席のもとで、供与機材贈呈式が行われる。
		新チーフアドバイザー(埼玉大学島田教授)着任(任期 2 年間)。
	ļ	計画打合せ調査団派遣。
	4	兵藤大使離任
	5	ポ日大における最初の国際会議 "ENCoDe" が開催される。
	6	スーパーコンピュータ委員会 (SMC) 発足、第1回会議開催。(委員長:Dr. Marek Tudruj)
		米国の著名な Al 研究者 Dr. E. A. Feigenbaum がポ日大を視察。
		米国ノースカロライナ大学情報工学科学科長 Prof. J. Quinn が来訪。米・ポ間での交換留
		学制度の締結について協議。
		ポーランド・日本宮内財団の宮内理事長来訪。
	7	短期専門家(茨城大学住谷助手)が派遣される。
		ポーランド訪問議員団(団長:村上正邦参議院議員)がポ日大を視察。
		Mr. P. SYNAK が、埼玉大学等で C / P 研修(2 カ月間)。
		短期専門家(埼玉大学長谷川助教授、大沢助教授)が派遣される。
		 佐藤・新大使着任
	8	ポ日大校舎3階部分の改築工事が始まる。
	9	短期専門家(埼玉大学山根助教授)が派遣される。
		ポーストリス 事務所長、ポーラント、欧州統
		 合委員会次官 W. PISCORZ 氏らが招待され、祝辞を述べる)。
		短期専門家(埼玉大学八嶋助教授)が派遣される。
	10	短期専門家(埼玉大学金子講師)が派遣される。
		ロンドンで JICA 調整員会議(増田調整員出席)。
		 短期専門家(埼玉大学和田助手)が派遣される。
		ポ日大の副学長 Dr. M. DUBEJKO 及び講師 Msc. A. DRABIK が、C/P 研修で来日。
	11	Joint Coordinating Committee(R/D で規定したもの)発足のための予備会合開催。
• .		│ │日本側は専門家・大使館・ JICA 駐在員事務所長の関係者が、ポ側はポ日大・教育省の
		 関係者が出席した。
		供与機材(日立スーパーコンピュータ SR2201 一式及び マルチスディア 関係)が到着。
	1	短期専門家 (SR2201 据付調整:日立製作所古宮氏、日立電子サービス 浜畑氏) 派遣される。
		フルシャワ文化科学宮殿で International Fairs Education & Marketing が開催され、ポ日大
		はマルチメディアの展示で参加。
		本プロジェクトのポ側の最高責任者である国民教育省次官が、
		Prof. Dr. hab. Kazimierz PRZYBYSZ から Prof. Jerzy ZDRADA へ交替。
	12	佐藤大使臨席のもとで、供与機材(含 SR2201)贈呈式が行われる。
	"	The second of th
	1	<u></u>

1998	1	短期専門家 (SR2201 調整:日立製作所高橋氏) が派遣される。
		ワルシャワ文化科学宮殿で Computer Expo '98 が開催され、ポ日大はマルチメディアの実
		演展示で参加。
		食糧援助見返資金の第3回目の使用(800 千ドル)が承認される。
	2	JICA プロジェクトリーダ会議(島田リーダ出席)。
		短期専門家(埼玉大学近藤助教授)が派遣される。
	3	日本大使館及び JICA 主催の「日本産業週間」が開かれ、それに合わせて以下のテーマ
		を中心に「ポ日大セミナー」を開催した。
		* 自然言語処理 Natural Language Processing-Seeking For Mechanical Translation
		* コンピュータ・グラフィックスとマルチメディア
		長期専門家(茨城大学辻助教授)着任(任期1年間)。
	4	日立ヨーロッパ吉村氏が、SR2201 の調整作業のため来訪。
	5	ポ日大校舎3階部分の改築完成式及び供与機材贈呈式が行われ、以下の来賓挨拶を得た。
		日本側:佐藤大使、目崎 JICA 理事
		ポ側 :ZDRADA 教育省次官、CZARNECKI 欧州統合委員会長官、
		SZUMSKI 外務省 アジア・オセアニア・アフリカ 局長
į		短期専門家(埼玉大学鎌田助教授)が派遣される。
	6	ラフセット国際会議 RSCTC '98 (ワルシャワ大、ワルシャワ工科大、ポ日大の共催) が開催される。
	7	国民教育省により大学院修士課程の設置が認可される。
		短期専門家(埼玉大学長谷川助教授・山根助教授)が派遣される。
		Mr. J. BORKOWSKI が、埼玉大学等で C / P 研修(8カ月間)。
	8	短期専門家(千葉大学山賀助手)が派遣される。
	9	スーパーコンピューティング国際会議 PAR ELEC '98 (ビアウィストック 工科大、ポ日大、
		カナダ・ケベック大、IEEE の共催)が開催される。
		短期専門家(埼玉大学八嶋助教授、茨城大学小澤教授)が派遣される。
		長期専門家(茨城大学青島助教授)着任(任期1年間)。
		短期専門家(SR2201 調整:日立製作所 瀬口氏、永山氏)が派遣される。
		Prof. L. POLKOWSKI が、埼玉大学等で C / P 研修(2 カ月間)。
		Prof. M. TUDRUJ が、埼玉大学等で C / P 研修(4 カ月間)。
		ポ日大新学期開講式。大学院修士課程が始まる。
	10	短期専門家(埼玉大学金子講師)が派遣される。
		新プロジェクト調整員中村氏着任(任期:プロジェクト終了までの2年6カ月間)。
		巡回指導調査団派遣。
		スーパーコンピューティング・セミナー開催。

	11	前プロジェクト調整員増田氏帰国(6カ月任期延長し、合計2年6カ月間)。
		チーフアドバイザー(島田教授)、健康上の理由で早期帰国。
		樋口 JICA 経理部長、岡部会計第一課長代理来訪。
		ロボティクスセミナー開催。
		横山外務省技協課長補佐、ポ日大視察。
	12	98 年度供与機材調達開始。
		ポ日大校地 3012 ㎡の無償永久(99 年間)使用権が国有財産省により承認される。
1999	1	大使館経協担当 杉村書記官着任挨拶で来訪。
		毎日新聞社町田ウィーン支局長、取材のため来訪。
	2	長期専門家(茨城大学東助教授)着任(任期1年間)。
		短期専門家(埼玉大学大澤教授)が派遣される。
		在ブルガリア日本大使館横山書記官、ポ日大視察。
		新チーフアドバイザー (合田 JICA 専門員)着任(任期:プロジxクト終了までの2年1ヶ月間)。
		ロボティクス・ワークショップおよびデータベース・セミナー開催。
	3	短期専門家(神奈川工業大学佐藤講師)が派遣される。
		スーパーコンピューティング・セミナーおよびマルチメディア・セミナー開催。
	ļ	大学評議会開催。研究委員会が発足。
		石田公使離任で、Nowacki 学長ほかが大使館へ表敬訪問。
		A.Pokrywko 助手、埼玉大学で C/P 研修(約3ヵ月)。
		R.Kotowski 教授、埼玉大学で C/P 研修(約1ヵ月)。
	4	金安·新公使着任。
		短期専門家(東京農工大学乾助手)が派遣される。
	5	短期専門家(茨城大学加納教授)が派遣される。
		実質的に初めての Joint Coordinating Committee が開催される。
		外務省加用課長補佐、広戸課長補佐、JICA 橋本課長代理視察のため来訪。
	6	マルチメディア・セミナー開催。
		ISMIS99、ポ日大、ワルシャワ大学、ワルシャワ工科大学と共催。早稲田大学大須賀教授
		ほかが参加。
		大学評議会開かれる。
	ļ	JICA 松本監査室長、岩野室長代理によりプロジェクト業務監査が実施される。
	7	埼玉大学とポ日大が大学間協定締結。
		P. Ejdys 助手,G. Gora 助手、埼玉大学で C/P 研修(2ヵ月間)。
		ポ日大 Steering Committee 発足準備につき Nowacki 学長が大使館金安公使などと協議。
	8	短期専門家(埼玉大学金子講師)が派遣される。

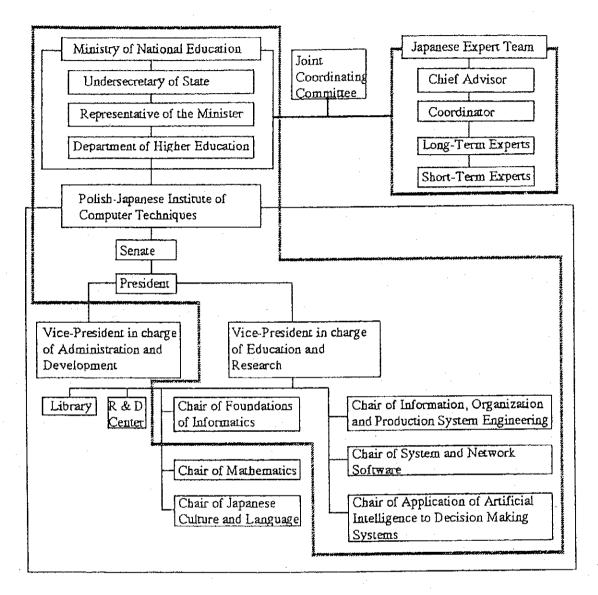
	9	日ポ国交樹立 80 周年行事の一つとしてクラクフ日本美術技術センター (マンガ) でロボ
		ットシンポジウムを開催。また、本学でロボット展を開催。
		長期専門家 (茨城大学浜松教授) 着任 (任期 1 年 2 ヶ月) 。
		短期専門家(埼玉大学井門助教授、茨城大学小澤教授、佐々木教授、白石教授)が派遣さ
		れる。
		名古屋学院大学図書館山内氏来訪・講演「ポーランドから発信する日本情報」。
		「(日)科学技術庁 (ポ)科学研究委員会の共同研究プログラム」へ2件の申請。
		入学式・開講式・新校舎定礎式(佐藤大使ほか臨席)。
	10	ロボット工学セミナー開催。
		埼玉大学兵藤学長・野平工学部長ほか 5 名来訪、大学間協定内容の具体化で意見交換。
		中村調整員、ロンドンで開かれた調整員会議に出席。
	-	第三国研修事前調査団派遣。
	11	ポ日大における第三国研修実施で調印。
		 ポ日大評議会開催、Katedra (講座) が正式に発足し各講座長が任命される。
		データベースおよびシステム工学セミナーを隔週で開催することになった。
		Nowacki 学長、埼玉大学 50 周年記念行事出席のため訪日。
	12	Joint Coordinating Committee 開催。
2000	1	ポ日大評議会開催。
		JICA 金丸総務課長来訪。
	<u> </u>	スーパーコンピューティング・セミナー開催。
	2	JICA プロジェクトリーダ会議(合田リーダ出席)。
		名古屋学院大学家本教授、日本研究文献検索国際化プロジェクトの件で来訪、Banachowski
		教授、ワルシャワ大学 Melanowicz 教授ほかと協議。
	<u> </u>	北海道大学田村教授、BUG 服部顧問、シレジア地域開発調査で来訪。
		第三国研修実施(2週間)、近隣7カ国より 19 名の教員・技術者が研修生として参加。
		長期専門家(東京農工大学吉澤教授)着任(任期:プロジェクト終了までの1年1ヶ月間)。
		JETRO 調査団、ポーランドとの技術協力の可能性調査で来訪。
	3	短期専門家(茨城大学吉田助教授、埼玉大学大澤教授)が派遣される。
		外部機関(A&E Consult)に依頼した「ポ日大財務分析調査」の結果がまとまる。
		ポ日大評議会開催。
		データベース・セミナー開催。
		名古屋学院大学家本教授、日本研究文献検索国際化プロジェクトの件で来訪。
	<u></u>	JICA 地域部計画課阿部職員来訪·視察。
	4	佐藤大使離任。
		ポ日大の「改正学則」が教育省により承認される。
		食糧援助見返資金の第4回目の使用を申請。
		経済協力実施状況調査団の大蔵省主計局工藤総務課長補佐来訪・視察。

を紹介。 7 大使館、ボ外務省、ポ日大が「日・ポ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 8 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。 泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。	-		
Nowacki 学長と Kosinski 副学長、C/P 研修で訪日(3 週間)。 産学協同の可能性について JETRO 赤津所長と協議。 6 上田大使来訪・視察。 ロボット工学セミナー開催。 Joint Coordinating Committee 開催。 富士通グループ来訪・視察。 ボ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 7 大使館、ボ外務省、ボ日大が「日・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 超期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼 短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。 泉 JICA 理事来訪、大期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーバス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 新教舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学館副理事長、茨城大学渋澤助教授)が高される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ボ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆譲院議員来訪、技術協力についてポロ大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ボ政府内で却下される。		5	上田・新大使着任。
産学協同の可能性について JETRO 赤津所長と協議。 L田大使来訪・視察。 ロボット工学セミナー開催。 Joint Coordinating Committee 開催。 富士通グループ来訪・視察。 ボ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 大使館、ボ外務省、ボ日大が「ロ・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授議演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がいきれる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ボ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ボ政府内で却下される。			Smyk 助手、茨城大学、筑波大学ほかで C/P 研修(4 ヶ月間)。
6 上田大使来訪・視察。 ロボット工学セミナー開催。 Joint Coordinating Committee 開催。 富士通グループ来訪・視察。 ボ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 7 大使館、ボ外務省、ボ日大が「ロ・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 8 短期専門家(茨城大学米倉助教長)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。 泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学でCP研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 J 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がいたれる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ボ日大においてCISCOアカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			Nowacki 学長と Kosinski 副学長、C/P 研修で訪日(3 週間)。
ロボット工学セミナー開催。 Joint Coordinating Committee 開催。 富士通グループ来訪・視察。 ボ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 7 大便館、ボ外務省、ボ日大が「日・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 8 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(塔玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新課堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学錦副理事長、茨城大学茂澤助教授)が行きれる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。ボ日大において CISCO アカデミー開設。前田衆議院議員来訪、技術協力についてボ日大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ボ政府内で却下される。			産学協同の可能性について JETRO 赤津所長と協議。
Joint Coordinating Committee 開催。富士通グループ来訪・視察。 ポ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 7 大使館、ボ外務省、ポ日大が「日・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 8 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がポ政府より日本大何へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学作田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 新教舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学洗澤助教授)が過される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。		6	上田大使来訪・視察。
富士通グループ来訪・視察。 ポ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 7 大使館、ボ外務省、ボ日大が「日・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学作田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が対される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ボ政府内で却下される。			ロボット工学セミナー開催。
ポ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラムを紹介。 7 大使館、ボ外務省、ボ日大が「日・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 8 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がボ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学轄副理事長、茨城大学渋澤助教授)が設される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			Joint Coordinating Committee 開催。
を紹介。 7 大使館、ボ外務省、ボ日大が「日・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 8 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。 合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR) がポ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。 泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が、される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ボ日大において CISCO アカデミー 開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			富士通グループ来訪・視察。
 大使館、ボ外務省、ボ日大が「ロ・ボ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR) がボ政府より日本大作へ提出される。 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 新校舎 J 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。ボ日大において CISCO アカデミー開設。前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。 	ĺ		ポ日大評議会開催、JICA 専門家グループも出席し吉澤専門家が日本のカリキュラム J97
8 短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がポ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。新校舎ホールで「日本の書道展」開催。ポ日大において CISCO アカデミー開設。前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			を紹介。
合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。 博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がポ政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が済される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。		7	大使館、ポ外務省、ポ日大が「日・ポ・ウクライナ三角協力」の可能性について協議。
博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)が求政府より日本大作へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がいされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。		8	短期専門家(茨城大学米倉助教授)が派遣される。
へ提出される。 9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。長庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が沿される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。	١		合田チーフアドバイザ、国民教育省より「国民教育委員会」メダル受賞。
9 合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がさされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			博士課程設置への協力を主内容とする次期協力要請(含 TOR)がポ政府より日本大使館
短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。 泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			へ提出される。
泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。 兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3 ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がいされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ボ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA 「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。		9	合田チーフアドバイザ健康上の理由で早期帰国、東保専門家がチーフアドバイザを兼務。
兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。 獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			短期専門家(埼玉大学前川教授、大澤教授)が派遣される。
獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。 Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			泉 JICA 理事来訪、次期協力などについて意見交換。
Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。 10 新校舎 1 階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			兵庫大学田中教授講演「多言語コーパス」。
10 新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。 新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			獨協大学竹田教授、中東欧の技術協力視察で来訪。
新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。 ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			Szmigielski 助手、茨城大学で C/P 研修(3ヶ月間)。
ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。 短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。		10	新校舎1階の講堂が完成(新校舎としては部分竣工)。
短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)がされる。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			新講堂で入学式・開講式、上田大使ほか列席。
される。 新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。		:	ロボット工学・マルチメディア ワークショップ開催。
新校舎ホールで「日本の書道展」開催。 ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。	١		短期専門家(埼玉大学金子講師、広島工業大学鶴副理事長、茨城大学渋澤助教授)が派遣
ポ日大において CISCO アカデミー開設。 前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			される。
前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。 JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。	ļ		新校舎ホールで「日本の書道展」開催。
JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。 11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。	Ì		ポ日大において CISCO アカデミー開設。
11 食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。			前田衆議院議員来訪、技術協力についてポ日大幹部と意見交換。
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	JICA「省エネルギープロジェクト調査団」来訪・視察。
12 終了時評価調査団派遣。	Ì	11	食糧援助見返資金の第4回目の使用申請は、ポ政府内で却下される。
		12	終了時評価調査団派遣。

巻末資料 5. プロジェクト実施体制図

ANNEX VIII

ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT



生

Ris

調査結果	外的	・日本人専門家、C/P、研修員受、 達成に貢献している。総じて、日本技術移転にとどまらず、専攻課程会の専攻課程へも技術移転しており、	・ただしタイミングに関しては、プロジェクト当初にやや計画通りに行われなかった点があり、専門家とのタイミングがすれた。具体的には、スパコンの設置が予定より約半年遅れたために、予定していた日本人長期専門家の旅選時期とずれ、機材と専門家のミスマー、た、、、、、、、・・、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ッチがおこったこうが、争びがジートでは、コボットと「タイミング」が低く評価された原因であった。また、ロボット工学においても当初投入したのは定置型ロボットであったが、投入した専門家は移動型ロボットの専門家であったなどの混乱があっ	完度	, – 6	想していた以上の結果を導いている。 ・CP については、プロジェクト当初、一部には他大学との兼任・CP については、プロジェクト当初、一部には他大学との兼任・SPのの多く、技術移転に割ける時間が短く効率が低かった部分するものが多く、技術移転に割ける時間が短く効率が低かった部分	手の数員への研修・イデアにつながり	・ ラボラトリーの施設・機材の質、量については、概ね分ったといえる。ただし、成果1・2で述べたように、スパコ酸が予定よりほぼ半年運れたことにより当初予定していた専者イミングが合わず、プロジェクト初期の段階において混乱た要因となった。またロボット工学において投入機材と専門た数因となった。またロボット工学において投入機材と専門を数日となった。またロボット工学において投入機材と専門を数とによい、またロボット工学において投入機材と専門を数を	によった。 発し、投入が 器版であり、	ーランド側 CF 1.50 に戻いてかい いかり 2.50 によい 1.50 国本における CF 研修は、ラボの整備、機材の活用方法の習得に大いに役だった。
ッド・調査結果表	在学生 日本人	H O							田口		1
評価グリッド・調査	C/P 卒業生	но							НО		The state of the s
	調査項目 大学	です デプログラム、指導番及び教 <u>専門家の投入、CPの投入、</u> 賞、量、タイミングの観点か	の適凹かもった。						 ・成果3:ラボの機材の投入は、質、量、タイミングの観点から適切であったか。ラボの整備に研修員受入は貢献したか。日本人専門家は貢献したか。 		
	目軍理人	4 中央									

調査結果		・この分野への CP の投入は、基本的には副学長ドラビック氏 1 人 (補助として事務スタッフ 1 名) であり、十分な体制ではなかった。日本人専門家のアンケート及びヒアリング、さらに CP アンケートからも同様の評価が確認された。また日本人専門家はシステム設計工学の専門家が兼任であり、専門性という意味では十分ではなかった。 ・ しかし日本人専門家の熱心な指導のもと、97 年から「情報技術セの労働市場調査」を定期的に実施し、4 回の報告音が作成されてせる。また、その結果はカリキュラム委員会(のちの教学評談会)で、報告されカリキュラム改訂のための情報の一つのなった。 ・ 加えて、ニーズ調査だけでなく、大学幹部及び各 CP は IT 分野の労働市場のニーズを的確に把握していることがヒアリングとアンケートの結果から確認された。	・ボーランド側の運営(長期計画、人事、経理分野等)に携わる いは学長、3 人の副学長(彼らは教授との兼任)及び事務長だけで あり、十分な時間が割けなかった。また、補助の事務スタッフの電、 専門性とも十分ではなかった。少ない投入ながら、大学としての基 本的な機能は確立しており、効率はよい。 ・日本人専門家の投入はチーファドバイザーとの兼任及び 2 名の 短期専門家のみであった。短期専門家の評価は高かったころから、
評価グリッド・調査結果表 情報源	卒業生 在学生 日本人 外部	H O	# O
評価グリ	政府 大学 C/P 、 水側 C/P R に関する投 R	ポ側 C/P. 31 H Q	ポ側 C/C、目 H Q
"""一	Mala And	・成果5:ニーズ調査において、ス本人専門家の投入は貢献したか。	・成果 6 :管理運営面の強化に、ポ側本人専門家、研修員受入が貢献したか。
Section of the sectio	· 阿面面		

	評価グリ	メ	·調査結果表	表		由郑李郎
日 数 田 企	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	備季松瀬				
571WM II	以 大学 C/P	卒業生	在学生	日本人專門额	外部	
		Carry Control of Carry	AND THE PROPERTY OF THE PROPER	To the state of th	THE	もっと生じた問題に対応する専門に特化した専門家の投入があればさらによかったといえる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
. 吕標達成度	・ 入学希望者数・競争率の推移、在学生数、卒 R ※生数の推移。				α	
	· 大学院進学者数 R				X.	 修士課程を創設して以来、98/99年には39人(全や来生り 26%)、 99/2000年には74人(同35%)が修士課程に進んでいることから、学部での一定レベルの教育水準をクリアしていると考えられる。
	・卒業生の就職者数、就職先、業務内容。アル R H バイト生数、就業先、業務内容。	он	Ø	-	五 分 **	1 メモンにもにがいていているが、これにいる者もいる。これに非の需要に合致してい
	・卒業生・在学生の満足度。他大学の評価	0	0		只他 日 企 大 紫	・現在働いている在学生・卒業生とも、実践的なカリキュラムを 提供する数少ない大学として、PJICT の教育金般について仕事に役立っていると高く評価しており、特に専攻課程、ラボ、教員の指導方法において満足度が高い。 ・他大学:ワルシャワ大やワルシャワエ大の大学院に進むものもあり、卒業生の評価は一定レベル以上である。
	・基礎課程、専攻課程、ラボが、技術者育成に 貢献しているか。	O	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	江	ਸ਼	・アンケート結果及びヒアリングから、技術者育成という観点で、特に專攻課程、ラボにおいて満足度が高いことが分かった。ただし、基礎課程においてはプロジェクト初期において教材の整備不足が問題であった指摘する卒業生もいた。 中路代かもにキュラバタ
	・卒業生・在学生で就業している者の業務内容 と本学教育内容 (教育プログラム、教材、ラボ) との合致医。	G.	<u>O'</u>	an in the second	Account to the second s	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
_			٠			

評価グリッド・調査結果表

	声 盐	評価グリッド・調査結果表	調查結果	崧		
DHE	田田中華	糖	情報源			
計画項目	政府 大学	C/P 卒業生	在学生	日本人 事門家 外	外部	
		Mentional Committee of Parketon	ACT I NAVIDE ALL ASCENSION AND ASSESSMENT	The second secon	79	も大学協定を締結し、よりグローバルな展開が期待される。 ・ロルシャロ大学など外部の研究者にもスパコンを随時開放して
					- 44	おり、その結果を種の研究交流が年まれたいる。 仕ます。キー(ロ・)ので、数毎の国際会議への協力・共通、
		<u></u>			-	— 11 \
					- E2Th	野のアスグ何上に傾倒したらる。 サービギが買いて、・ドー・オールンド 6 当 かんでか 配 2 報 図 く の
	!	***************************************		-		XM がおからなる。 国際会議、セミナー等を通じて、ポーランド国民の IT 化、B
	・本学の活動がマスコミ等で紹介され、11の10と			ᄶᄁ		本への関心が高まった。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		·		<u> </u>		まった。毎にポーシンド圏内がは、設発設備を有する BICT が日本上ませんなもななないいなおななみの、そのユニークがか本学形態
					<u> </u>	数形の勝力にいるたりは近ち、ソン、、の種田に挙げる学生も少なくない。
						ئىد
						ーロッパ内でも数えるほどしかなく、プロジェクト組包においては - ロッパ内でも数えるほどしかなく、
						国内及び近隣諸国の研究者の固た反聯を呼び、どびこの名を国内及しかの解験題とを言いそれ
				+		いれる諸国、となっしかい。 ほうがん 国の対対 からい ボールン アード・ファー・ジャー ジャージャー ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・
本におります。	・ポ国の国策にあっているか。					対機関と
1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					•	数をは 11 月到ら口語していましています。 かんだい かんじょ かん かん はまま これ の 不 の か の か の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と の か と か と
						■ノンス、ランコ。 れる「第三国研修」の開催費の負担はその表れの一つである。
	は名がに、一は、一部十一様存在入場外認故〉の	Ö	0			\mathbb{R}
		ĸ	Н			リーズに合数した2を開影にある。 1 - メに合数した3を開影にある。 1 - カンドルトの関係を対し、 1 - カンドルトの関係を対し、 1 - カンドルトルの関係を対し、 1 - カンドルトルの の は 4 回 数 回 数 値 数 回 数 回 数 回 数 回 数 回 数 回 数 回 数
	・今継のゴーズにあっているか。	NAME AND DESCRIPTION OF THE PARTY OF THE PAR			なる 終金の	2000年4月)によると、痛妬的高計画2000年4月)によると、痛妬的高計画
					×E	
	・社会的ニーズにあっているか。	Н	9		Q企業	・ 国策、国民、企業のニーズに合致している。・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	・計画の設定は労当か。					・「「内田縣、フロンコンド日係、吸水及の投入でおこうに目が合は大筋安当であった。しかし、LDM Oにはやや表現があいまいな点
	(プロジェクト目標の女当社、上DL日際、/ ユー ジェクト目標、成果、活動、投入との相互関係)					を、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい<l>いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい<l></l></l>
						※然思に叱回し、いのでノコンピントミネィコンピィーン所会にデ こと語の buny か画面」と如くいつ気だこくも短く評価に始る。
						つい国目LDM を水回りいこう。 ・しかしながら、IT 分野の技術革新が当初予想した以上の早さで
						進行し、機材計画においてはプロジェクト当初の計画が現時点におしてはなめな当年を欠いている部分もあったと言わざるを得ない。
·			····/-3*			
		And the same and a finish principle and a substitution of a substi		J. 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10		

出来表 日本人 中国教 外部	・日本が停息によるログルンプラーの のように 日本政府の方針に合致している。 日本政府の援助方針である体制移行国で、 計画の全体において、日本政府の援助方針である体制移行国であるポーランドに対する「市場経済化の支援」と合致している。	・ PJICT は非国立大学であるため、政府からの直接的な財政文技は得られないが、国民教育省はあらゆる場面で今後とも PJICT を支援することを約束した。例えば、政府機関から研究協力プロジェクトの委託や、企業との共同研究を促す制度の導入、さらにはこれまで国立大学生しか受けられなかった奨学金対象者の拡大などである	2000 年 6 月にまとめられた財務コンサルタントの評価によると、学生数が 1500 名になれば PIICT の通常は軌道になると報告されている。他方 PIICT 側の予想によると 2003 年までには 1980 名の学生数を確保できるとしている。・しかし、大学側は博士課程の創設も予定しており、それに伴ってコストがかさむことも予想される。また今後の IT 分野の進展によって雑統的な設備・機材の更新が必要であることから、財政的なよって雑統的な設備・機材の更新が必要であることから、財政的な自立発展性は今ところ楽観視はできない状況である。	R ・ PJICT は、引き続き新規学生の確保のためし多体ない転回数、研究発表活動をおこなっており、また今年度から週末社会人大学を開設し、さらに将来的にはインターネットを用いた遠隔教育システム [e-education] も準備中で、対象者数の拡大を狙っている。これ [e-education] も準備中で、対象者数の拡大を狙っている。これら生徒数の確保のための努力に加えて、研究助成の獲得や企業との連携なども検討しているところである。	・ PJICT の没算報音をみると、パースについる。また支出の内訳をみると、プロジェクトの中間時点 (97/98 年)では人件費が 78%を占めていたが、じょじょに改善され、99/2000年には 62%、2000/01 年には 54%となっており健全化したといえる。
新価がリッド・調査	日本の援助方針に合致しているか。	5.自立発展性 ○政策的側面 ・関係省庁の政策的支援は受けられるか。 H H	○財政的側面 ・プロジェクト終了後の運営予算は確保できる R か。	・財源確保の努力をしているか。 R	·財務体質は健全か。

包括的な運営基盤の整備はまた発展返上である。 包括的な運営基盤の整備はまた発展返上である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カンパッツ数日/ カンア おいて少なからずプラスとなっている。 ・事務職員の数はプロジェクト初期に比べたも増えたもののま ・予がはなく、そのため経理や総務などの大系化が進んでおらず ープに対応する発酵の整備はまだ発展途上である。 の括的な運営基盤の整備はまだ発展途上である。 ・ PICT は、ニーズに応じて大学院の開設、6 つの専攻課程や ・ A こっぱいけて大学院の開設、6 つの専攻課程や ・ A おおかな場場を発生権にある。	本文 外部 門家 小部 (私) (大) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人	このことによりプロジェイイかなのととが期待できて行われており、特に若いることをを味しており高くることを意味しており高くないる。このことは PJICT の多っている。このことは PJICT の後材リストも整備されている。この機材投入が途絶えた場合を表した数はで適した数有機関といっており、数有機関といっており、またいっとがは、またいのは、またいのは、というといい。というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、というと、は、ないいい。というとは、というとは、というとは、というとは、というとは、というというというというというというというというというというというというというと	本 T H H H H H H H	田	(術移転した C/P は定着すると期待できる 6設・機材の整備、更新、保守管理体制は十 学術的レベルの向上は期待できるか。 人員確保、職員の能力、機構体制を維持で か。
y看/研究レベルを提供していることは、FJIC」の過ぎなかのずプラスとなっている。 ほの数はプロジェクトが想に比べたも増えたものま 員の数はプロジェクトが想に比べたも増えたものまなく、そのため種種を総数などの大米化が進んだおかずなく、そのため種種を総数などの大米化が進んだおかずなく、そのため種種を総数な	9. 様 / 拝拾し くうを詰有し / こるい 7. は、アコン1 9.7 当出	5 H ・フルタイムの数点が高加いである。 5 また日本人専門家による技術移転は、少数の C/P にのみに行る。 5 また日本人専門家による技術移転は、少数の C/P にのみに行るのではなく専攻コース全体に対して行われており、特に話い世代を支える人材を育て、技術が定着することを意味しており高く世代を支える人材を育て、技術が定着することを意味しており高く中できる。 1 ・ 各ラボには正・副の責任者がおり、機材リストも整備されている。 1 ・ Aラボには正・副の責任者がおり、機材リストも整備されている。 1 ・ Aラボには正・副の責任者がおり、機材リストも整備されている。 1 ・ Aラボには正・副の責任者がおり、機材リストも整備をおている。 1 ・ Aラボには正・副の責任者がおり、機材の違人、整備、活用 1 ・ Aの活用について検討し、近直改善されている。 1 ・ Aの目ので整備、拡充していくことができるかどうかは不透明。 1 ・ A 関の費は高く、研究活動にも非常に意欲的であることから、教育機関と、	な写って、、、文は『木・『・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		щи	権保、職員の能力、機構体制を維持で
・人員確保、職員の能力、機構体制を維持でき H TO安定性を増している。 ・ 拾導的立場にある数員の一部はフルシャワ大やワルシャワなどポーランド有数の大学で教鞭をとっており、またポーランなどポーランド有数の大学で教鞭をとっており、またポーランなどがよってもを担合していることは、PJICTの選択の表育/研究レベルを提供していることは、PJICTの選択いてかなからずプラスとなっている。 ・ 事務職員の数はプロジェクト初期に比べたも増えたもの・ 事務職員の数はプロジェクト初期に比べたも増えたもの中分ではなく、そのため経理や総務などの大系化が進んでおら上分ではなく、そのため経理や総務などの大系化が進んでおら	・人員確保、職員の能力、機構体制を維持でき H TO安定性を増している。 るか。 ・指導的立場にある数員の一部はフルシャワ大やワルシャなどポーランド有数の大学で数額をとっており、またポーラなどポーランド有数の大学で数額をとっており、またポーラなどポーランド有数の大学で数額をとっており、またポーラなどポーランド有数の大学で数額をとっており、またポーラなどポーランド有数の大学で数額をとっており、またポーラなどがよってもそれらの大学学の大学を担合していることは、PJICT の表表があった。	(所移転した CP は定着すると期待できる H H ・ フルタイムの3K BXXV-18 MA	A後もその水準は保てると予想される。 今後もその水準は保てると予想される。 く、研究活動にも非常に意欲的であることから、 は今後も向上すると予想される。 は今後も向上すると予想される。	II.		・学術的レベルの向上は期待できるか。
・学術的レベルの向上は期待できるか。 H ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・学術的レベルの向上は期待できるか。 H ・ 知行されており、今後もその水準は保てると予想される。 ・教員の質は高く、研究活動にも非常に意欲的であることでの学術的レベルは今後も向上すると予想される。 その学術的レベルは今後も向上すると予想される。 ・人員確保、職員の能力、機構体制を維持でき H HR ・ 常勤の教員とスタッフ数は確実に増加しており、教育機である。 ・ お導的立場にある教員の一部はフルシャワ大やワルシャなどボーラなどボーランド有数の大学で教鞭をとっており、またボーラなどボーランド有数の大学で教鞭をとっており、またボーラなどボーランド有数の大学で教鞭をとっており、またボーラは、PJICTの大学学である。 ・ 20 よが、 1 においてもそれらの大学学である。	(者を転した C/P は定着すると期待できる 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	グラムと 途絶えた (透明。 育機関と	3		・ 加設・ 域和 / 近 加、 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 ・機材の整備、更新、保守管理体制はT R I R I R I R I R I R I R I R I R I R	施設・機材の整備、更新、保守管理体制は十 R R 計画が検討されている。カリキュラム委員会で教育プログラフェのか。 分か。 ボの活用について検討し、適宜改善されている。カリキュラム委員会で教育プログランボの活用について検討し、適宜改善されている。 ・しかし、プロジェクト終了後日本からの機材投入が途絶。 ・学術的レベルの向上は期待できるか。 H ・ 動一誌「Wprost」に Piger は とかできるかどうかは不適明の能力、機構体制を維持でき、		ルタイムの教員数が増加しており、「のっこ」により、「フィムの教員数が増加しており、「のっこ」を通じて移転された技術が PJICT 内に定着することが期待でまた日本人専門家による技術移転は、少数の C/P にのみだるのではなく専攻コース全体に対して行われており、特に活るのではなく専攻コース金体に対して行われており、特に活が積極的に技術移転を受け入れており、このことは PJICT のを支える人材を育て、技術が定着することを意味しており高を支える人材を育て、技術が定着することを意味しており高さきる。	ц		・技術移転した C.P. は定着すると期待できる か。

注) H:ヒアリング Q:質問票 B:資料

第3四半期現在

平成12年度

中村富士夫)

(調整員氏名

6. 日本側/相手国側投入実績一覧表

6-1-1 (長期専門家派遣)	門家派遣)		- 1	-			1	00,00	# # H	00/00	(1) (1) (1)	10
\$ # V	H:	三	平成8年 96 4 7 10	96/97 10 1 4	平成9年7	97/98 10 1	平成10年 98/99 4 7 10 1		平成11年 99/00 4 7 10 1	39/00	十級12年 507.01 4 7 10 1	5 -
チーフアト・ハ・イザ・ー	井門後治	96.4.1-97.4.5										 11
チーフアト・ハ・イザ・ー	島田静雄	97.3.24-98.11.4										
5-771 Nº 14°-	4田ノゾム	合田ノゾム 99.2.27-00.9.10										
外华 国图 女 长 探	地田郎一郎	被田島一郎 96.4.7-98.10.31						1				
Mag Rook	X I											
業務調整	中村富士夫	中村富士夫 98.10.5-01.310					i i					
システムエンシ、ニアリンケ	東保光彦	94.2.14-01.3.7										
(2000年9/10よりリーダー兼務)	リーダー兼	(表)										
7.00、ラシング、宮語	吉田龍生	96.10.16-97.10.1				1						
マルチメディア	~鱧 1	98.3.20-99.4.12							1			
ロボティクス	青島伸—	98.9.1-99.9.30					1					
スーパーコンと、ューティング	東 美和子	東 美和子 99.2.1-00.1.31										
ロボティクス	浜松芳夫	99.9.3-00.10.28										
スーパーコンと、ユーディング	吉澤康文	20.2.20-01.3.7								!		

(注1) 長期専門家、氏名、指導科目、派遣期間(日付入りバーチャート)を記入。

		21					222							239								275	12	!					284				161				238	! !						408	接口22 1
		21					222															514																						1064	±77.74
四数	14		93	78	13	22	4	92	25	29	25	30	59	ഗ	53	53	29	75	14	4	36	64	- 2	42	92	13	24	63	84	2.1	29	82	29	94	6	50	63	180	5 6	, c	7,	2) (7 - 7 - 7
+ 後 12 中 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1		10-1			•							1								1	•						•																
+秋二年 99/00 4 7 10 1						1						ı	1	v							ŀ							•				1	1				111,0							;	
4-1%(10年 94/99 4 7 10 1																	_1			ı							1			1	l					1							I		
+改54 51/98 4 7 10 1			-			-			ı	I					1		•									I					•		•						1						
+101 4 7 10 1		٠			•																			I						• •							•								
20 異 類 浜	00.9,16-00.9.29	00.10.8-00.10.14	96.6.30-96.9.30	97.7.25-97.10.10	99.2.18-99.3.4	00.3.20-00.4.10	00.9.16-00.9.29	96.7.21-96.10.20	97.7.25-97.8.18	97.9.27-97.10.25	98.9.2-98.9.26	99.9.10-99.10.9	00.3.1-00.3.29	00,10,18-00,10.26	97.11.24-97.12.22	97.11.24-97.12.22	98.3.27-98.4.24	98.8.17-98.10.30	98.9.7-98.9.20	98.9.7-98.9.20	99.8.31-99.10.5	00.12.17-01.2.3	00.1.8-01.1.19	96.6.30-96.8.10	97.7.2-97.10.1	98.2.22-98.3.8	99.3.8-99.3.31	99,5,9-99,7,10	00.8.22:00.10.8	98.7.13-98.8.2	98.9.9-98.10.7	99.4.20-99.7.10	99.9.2-99.9.30	96.7.22-96.10.23	97.10.14-97.12.13	98.5.30-98.6.18	99.8.30-99.10.31	96,10.7-97.4.5	97.9.19-97.10.19	97 10 04-97 12 14	08 7 26-08 9 23	98 10 10-98 11 11			***************************************
 民 他	前用仁	2	佐藤 尚	大沢 格	大汗 格	大沢 恭	大沢 格	金杉昭衛	長谷川孝明	八鹏弘幸	八嶋弘幸	佐々木豊	古田鶴任	類類	活一要凝	古四礼拜	古田龍生	山賀正人	张 三 米	瀬口英回	井門後治	小澤哲	班師 年一	近藤邦雄	住谷秀保	近藤邦雄	在隊 追	加納斡雄	米的 通広	長谷川孝明	小海 哲	乾信雄	小浴 姑	鎌田憲海	船類田 塚	鎌田憲彦	金子格良	山板敷	山根敷	金子松良	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4	14 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	
ф ф	大学運営	大学運館	システムメインテナンス	データペース	データハース	7-141-7	データペース	<i>ትッ</i> トワー <i>ケ</i> ノフト	ネットワーク、マルチメディア	4-14-7	モーヒ・ルコンと「ューティング	情報通信技術	ネットワーク管理	57.00" 72.27" 4",19-2	(据付) スパコン・ハード	(堀付) スパコン・ンフト	スーパーコンと。ューティング	スーパーコンと・ューティング	`イーハ・イニ゙ハス	オン・シント	スーパーコンピューティング	スーパ・ーコンピ・ューティング	意志決定デークマイニング	ンと、ユータグ・ラフィックス	画像処理	コンと。ユータグ・ラフィックス	CAD/CAM&CG	CAD/CAM&CG	₹ <i>₩</i> ₹メディア	マガチメディア	マルチメディア	マルチメディア	7.645年7日遗隔教育	エレクトロニクス	エレクトロニクス	エレクトロニクス	エレクトロニクス	人工知能・味・ディッパ		日本、サイニクス	F7/2/2		1004115th		
Σ Lab	2)	ပ	A SE	A SE	A SE	A SE			B CN	B CN	B CN	B CN	B CN	B CN	_			C PP	C PP	C PP	C PP	Ьb	DE DE	5	ဗ	၅	ဗ	9	9	Σ	Σ	Σ	Σ		_			S.				£ 4	. 4		7
—————————————————————————————————————	0	0	2 1 /	8 1 /	Ë	_	-	_	7 2 E	2	2	2	7	7	7	7	ď	7	7	7	7	3 2 C	က			ŝ	က	m	က	3	m	ന	ω m			w m	3	33) (
2	39	4			56	36	38			10	21	33	35	42	13	14	16	20	22	23	31	43	44			15	27	29	37	18	24	28	32	m	12	17	30		61]]	_ o	- 0	2 6	4 6	

List of Counterpart Personnel Received Training in Japan

1 9 9 6 (JAPANESE FISCAL YEAR)

L	777714	Date	Anr	Anr. May Jun.	Jun.	Jul.	Aug.	Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Jan.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb. Mar.	Mar.	Place of Visit
	Name (rield)	Care	2											_	
<u> </u>	1) Dominik A. Slezak					•	-					-			
	25 lil ~15 Dec.	25 hil ~15 Dec.				1									Saitama Univ.
	(Artificial intelligence and computer control)														
2)	2) Marcin S. Szczuka				•		·				,				
	(Artificial Intelligence and Computer Control)	25 Jul.~15 Dec.				1									Saltama Univ.

1 9 9 7 (JAPANESE FISCAL YEAR)

Piotr Synak (Multimedia) Maciej Dubejko	Name (rield)		+	Apr Mak	un.		Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Jan. Feb. Mar.	Feb.	Mar,	Place of Visit
Piotr Synak (Multimedia) Maciej Dubejkc				1											
(Multimedia) 2) Maciej Dubejko															
(Maciej Dubejko		- C.				†									Saitama Univ.
2) Maciej Dubejko				-	-			-							
	9														
(University Education)	Jucation)	15 Oct.~13 Nov.					+			A			1	+	Saitama Univ.
3) Aldona Drabik	>									_					
(1) (1) (1) (1) (1)	Hiversity Education.Multimedia)	28 Oct.~18 Nov.							+	1					Saitama Univ.

1 9 9 8 (JAPANESE FISCAL YEAR)

L	Name (Field)	Date	Apr.	May	Jun.	'nζ	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.	Place of Visit	
1																
	-					_							1			
•	(2001) to second (1000) to leave the second (100	21 lul ~20 Feb													Saitama Univ.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	1) Janusz Borkowski (Parallel Colliputing)				-											
									A			•				
,	2) coh Bollowski (Bohotics)	15 Sep. ~10 Oct.													Saitama Univ.	
<u>"</u>	/ Letti romovan (nobodes)															
		-									<u> </u>					
~~	3) Marek Tudrui (Parallel Computing)	15 Sep. ~12 Dec.													Saitama Univ.	
'							-									-
															•	
4	4) Rominald Kotowski (Education of CT, CS, IT)	15 Mar.~17Apr.													Saitama Univ.	Т
															Hitachi	
	5) Andrzej Pokrywko (Parallel Computing)	23 Mar.~19Jun.													Saitama Univ.	
	,		l													

1 9 9 9 (JAPANESE FISCAL YEAR)

1	Name (Field)	Date	Apr.	Мау	Jun.	=	Aug.	Sep.	Oct.	Nov	Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Jan. Feb. Mar.	Jan.	Feb.	Mar.	Place of Visit
-	1) Piotr Eidvs (Multimedia-Agent Technology)	20 Jul.~2 Oct.				1									Saitama Univ.
1 2	2) Grzegorz Gora (Multimedia-Agent Technology)	20 Jul.~2 Oct.						1							Saitama Univ.
് ന	l l	+											1		Saitama Univ.

2 0 0 0 (JAPANESE FISCAL YEAR)

	Name (Field)	Date	Apr.	May Jun. Jul. Aug.	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Oct. Nov. Dec. Jan.	Dec.	Jan.	Feb. Mar.	Mar.	Place of Visit
L								4		:					Tsukuba Univ.
7	1) Adam Smyk (Parallel Computing & Supercomuting 8 May ~29 Sept.	8 May ~29 Sept.													Ibaraki Univ.
2	2) Jerzy Pawel Nowacki (Management of Institute) 16 May ~2 Jun.	16 May ~2 Jun.		1											Saitama Univ.
<u> </u>) With Management (Wanadawan of Incitit to)	16 May 2.2 Lin		1											Saitama Hoiv
તે .	Within NOTOWARI (Maliagerilent of institute)	- C - C - C - C - C - C - C - C - C - C								1					
4	4) Adam Szmigielski (Robotics)	2 Sep.~30 Nov.													ibaraki Univ.

6. 日本側/相手国側投入実績一覧表

(調整員氏名

中村富士夫)

第3四半期

平成11年度

1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 1 4 7 10 1 1 4 7 10 1 1 4 4 7 10 1 4 4 7 10 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	6-2 (6-2 (機材供与)						ŀ
4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 1 1 4 7 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		每	 		95/78	平成10年 98/99	平成11年 99/00	平成12年 00/01
(17.5,742年円				7 10	7 10 1	2	7 10 1	
# 年 度 移動型は、小原道機器				○175 747年田	〇104.486千円	〇450千円		
# 年 度 移動型は"小阪型準機器 1457"で機器 7457"で機器 7457"の対し、 17234台 17234台 17234台 17234台 17234台 17234台 17234台 17234台 172324-17324台 17234台				ハ・ランルコンケ・コーター		マーデーレンソタ		
# 年 度 移動型は"か及び関連機器 7455"(77機器 77.498年円 な82.302年円 な81.296千円 な27.498年円 な22.000千円 かフブージョン・ハ"ンフ 75.4974ーバー 7.74974ーバー 8.251000千円 カンブージョン・サーブ・リンタ 7.514974ーバー 8.2511年 カンゴーブ・ネッケー用機材 バージン31台 ストランティーター 1.72、ス・ケーの用機材 バージン31台 ストランティーター 1.72、ス・ケーの用機材 カンドエット 4.72、ス・ケーの用機材 カンドエット 4.72、ス・ケーの用機材 カンドエット 4.72、カーケーのサーバー 4.23・カーケーのサーバー 4.23・カーケーのサーバー 4.23・カーケーのサーバー 4.23・カーケーのサーバー 4.23・カーケーのサーバー 4.23・カーケーション・カーケーション・カーケーション・カーケーション・カーケーション・カーケーション・カーケーション・カーケーション・大き、カーケーがカーケー 4.72・カーゲー 4.72・カーゲーン 7.72・カーゲーン 7.72・カーゲーン 7.72・カーゲーが 7.72・カーゲーン 7.72・カーゲーン 7.72・カーゲーが 7.72・カーゲーン 7				定置型时"外関連機器	中、小関連機器			
(4) ロークステーシュ・ハ・コン 381,296千円 ム27,498千円 ム22,000千円 ム23,302千円 ム81,296千円 ム27,498千円 ム22,000千円 ルップステーシュ・レーザーリンタ デライッグスー・デー アライッグスー・デー アーフ・ス・アー・デー・デー 大いコーパー・デー・デー・デー・ ス・アー・デー・ ス・アー・デー・ ス・アー・デー・ ス・アー・デー・ ス・アー・デー・ ス・アー・デー・ ス・アー・デー・ は到計算サー・ は到計算サー・ は到計算サー・ は到計算サー・ ス・アーン・デー・ は対して ス・ス・アー・ は対して ス・ス・アー・ は対して ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・			叶	移動型は、小及び関連機器	マルチゲーイア機器			
5 A82,302千円 △81,296千円 △27,488千円 △22,000千円 た鑑型は、ホ ワップテッタンレサーブリンタ アップテッタンレサーブ・リンタ オ 株 株 は いコン、ソフト・ロン・コ・一様 ソフト・コ・ は かけ・ファー・ な は かけ・ファー・ は かけ・ファー・ な カッカ・カー・ な かけ・ファー・ は かけ・ファー・ は かけ・ファー・ カー・ ボー・ は かけ・ファー・ オリ・ファー・ オリー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリ・ファー・ オリー・ オリ・ファー・ オリー・ オリ・ファー・ オリー・ オリー・ オリー・ オリー・ オリー・ オリー・ オリー・ オリ	李			くにい。ハ、くョぐーでスケーク				
+ A82,302年円				マルチメディア権器				
### 1000 100	-			△82.302千円	△81,296千円	△27,498千円		△21,300千円
## かいた カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ի		定置型は、小	9" 574"9X#-N".	パンコン48台サーバー1台		ネットワークスィッチ
### 1.0/htt.73を確実験装置 数官用サーバー な置は、ットラップ・ケード は、小関連機器 かったりエア、コント・1 カーブ・スカーグ 14 カーグ・スカーグ 14 カーグ・スカーグ・カーブ・カーグ・スカーグ 14 方 総 材 いかが、書籍、 液晶が、アトウエー スカーグ・カーグ・スパコン 日に、メート・バンコン 14 方 総 材 いかが、書籍、 液晶が、アトウエー スパコン 日に、メート・バンコン 14 方 総 材 いかが、書籍、 液晶が、アトウエー スパコン 14 カーグ・ファウェー・ア・ディング 14 方 総 材 いかが、書籍、 液晶が、アトウェー・ア・ディスク 14 カーグ・ア・ファウィー・ア・ファウィー・ア・ファウィー・ア・ファウィー・ア・ファウィー・ア・ファウィー・ア・ディスク 14 カーグ・ア・ファウィー・ア・ディスク 14 カー・デ・ナ・ア・ファウィー・ア・ディスク 14 カー・デ・ナ・ディー・ア・ファー・ア・ディスク 14 カー・デ・ナ・ア・ファー・ア・ディー・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア				リークスナーション、レーザ・ーフ・リンタ	グェラフィックスワークステーション	移動口ボットx2		インターネットコネクション
## 1/2021年		**		TJ.7kn-72共務率職装置	教官用#-//"-	定置は、小アップ・ケート・	•	ネットワークサーバ
##		ř		大いとして、よってことの田雄林		אנגיב יאג.	並列計算サーバー	ビデオスクリーン装置
# 数 (***********************************				2000 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		フルチャディアバフト		LCDビデオフ。P. 1分
#				ハ・ソコン、ソフトワエバ、コピーを表		1000番目		ゲーキャー・ケイ・ナー・バー
# 越 ○ 23-cm2/C 2-7- A07'1)ン4- L級10/Nc2/20#4 上級10/Nc2/20#4 ○5,531千円 ○2,291千円 ○1,788千円 ○2,005千円 いっし、カラーブリンケー パンコン、春箱、ソア・ウェー パーコンパト デッタががえ、香籍、 液晶プ・ロディケー スパーン 部が御回定ディスク スパコン 用ンフト アン・ヴェーブ・リンケー ビデオがス、トナ・カートパンコン PC メモリイもプライックルード は 村 がりがエー、レーザーブ・リンケー ビデオがス、トナ・カートリンプ ロボット関連機器 ハード・ディスク カリンタ デッジがビデオがテ マザーボード マザーボード		*						は、これには、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般
12-ロンピューター AOフ・リンター AOフ・リンター L級エゾトロエグ機材 ○5,531千円 ハ・ソコン、 本籍、 ソフトウエアー ハ・ソコンフト ア・フ・リンター ア・ブ・カック・ ア・ブ・カック・ ビ・デ・カメラ、トナーカートリッジ・ ノート・バンコン PC メモリイ他グ・ラフィッカード は、外関連機器 ルト・ディスク サ・ディスク は、外関連機器 ルト・ディスク デ・ジタル・ディオグラ マザーボード マザーボード				0				トペート 田水二 シアにゅぎ
上級1v/h口が機材 上級1v/h口が ○2,291年円 ○1,788年円 ○2,005千円 パッコン、ガーブ・リンター パッコン、青ーブ・リンター パッカンカート スパコン用ンフト ボックカルデ、オープ・リンター ビデ・ガルラ、トナートリッジ ノートバンコン PC メモリイ他がラフィッカート 様 行 機 材 ツットウェア・レーザ・ファリンター 他 デジ・タルビ・ディカバラ フリンターディンカラ 大き 大力 から かい かった デーカ から かい かった ディカバラ かい	-			=1-01/ピ1-ター		-		ネットワークターミナル32台
上級エ小中二分機材 ○2,291年円 ○1,788千円 ○2,005千円 いコン、ガラフ・リクー パンプ・ 本籍、パンプ・ スパーンが、スパーン用ンフトテッシのかがう、書籍、 液晶プ・ログェクー スパーン 出海御国定ディスク スパーン用ンフト ア・ディションター ピデ・オがう、トナートリッジ ノートバンコン PC メモリイ他プライッカード インコン (他 デックリア・ オルディスク デックルド・ディスク でディオがう フリンタ デックル・ディー・ マザーボー・ マザーボー・			·	A07°11/3-				
(35,531年円) (32,291年円) (31,788年円) (32,005年円) (1,788年円) (1,788年円) (2,005年円) (1,72017) (1,72017) (1,72017) (2,005年円) (1,72017) (1,72017) (2,005円) </th <th></th> <th></th> <th></th> <th>上級エントロニクス機材</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>				上級エントロニクス機材				
ボッカン、カラープリンター ボッカンア・カープリンター ボッカンア・スペコン別の国立ディスク スペコン別の国立ディスク スパコン用ンフト 様 村	*			〇5,531千円	〇2,291千円	〇1,788千円	○2,005千円	〇706平田
デジタかがう、書籍、 液晶プ・ビュクター スパコン制御固定ディスク スパコン用ソフト 行機材 ソフトウエアー、、レーザープリンター ビ・デ・オがグ、トナーカートリッジ ノートパンコン PC メモリ他グ・ラフィックカート 他 他 ロ・デ・外域 フィックカート・ディスク ボ・ディスク カリンタ デ・ジタルビデ・オルバラ フリンタ マザーボ・ト・	2			ハ・ソコン、 カラーフ・リンター	ハッソコン、書籍、ソフトウエアー	17.7.CL*11	ハロンジュート	デジタルが行体属品
行機材 v7トウエアー、レーザーフ・リンター ビ・デ・オカメラ、トナーカートリッシ。 ノート・パンコン 他 他 でいっぱい 外関連機器 でいっぱい ア・デッタル・デ・オカバラ				デジタルカグ、書籍、	液晶7.17,17%	スパコン制御固定ディスク	スパコン田ンファ	も、 何コンピュータ2句
他 は、小関連機器 デジタル・デッカバラ			粪	 リフトウエアー、レーザ ^ー ーフ。リンター	し、デ、オカメラ、トナーカートリッシ	ノートパンコン	PCメモリ他グラフィックカート	
テ・シックルピ・テ・オカメラ			<u> </u>	4	多	口, 小関連機器	ハードディスク	
				<u>.</u>		デンジタルビディカメラ	プリンタ	
							・ナーボート	

(注2)機材の欄には、本邦購送分(〇)と現地調達分(△)に分けて年度毎の合計金額及び主要品目を記入。

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1996 (PURCHASED IN JAPAN)

Course	Fouriernent	NO.	Model
		1 set F	set Hitachi: Hitachi SR2201,8 Parallel Processor
Common	Common Workstation	3	3 Science Paradise: DRAGON AXP5/300-128N
))			128MB RAM, 2GB HDD, 8GB DAT, Software (UNIX, Fortran, Cetc.)
			17 inch Color Monitor
	Personal computer	3 /	3 Apple: Power Macintosh 9500/150,64MB RAM,4GB HDD,
			17 inch Color Monotor, Laser Printer,
		0)	Software(ClarisWorks, Photoshop, Office Pro etc.)
	Personal Computer	3 [DEC: FXs5166,48MB RAM,2.5GB HDD,Laser Printer,
		0)	Software(ClarisWorks,Photoshop,Office Pro etc.)
	Workstation	12	12 Science Paradise: DRAGON AXP5/300-128N,128MB RAM,
			2GB HDD,8GB DAT,Software(Windows NT 4.0, Micro AVS etc.)
			17 inch Color Monotor
	Video Tape Recorder	2.5	2 SONY: SVO-5800P
	Video Tape Player	1	SONY: SVP-5600P
Course B	Video Editing System	1	SONY: FXE-120P
	Video Camera	-	PANASONIC: NV-S990EN
	Color Video Monitor	3	3 JVC: TM-1500PS
	Video Cassette Recorder	1 /	1 AIWA: HV-MX1
	Computer Graphics Software	2 [2 LightWave3D,Training Video
	Head Mount Display	2	2 Vertual i-o
	Multi-track Digital Audio	-	ADAT-XT
	Digital Audio Tape Recorder	-	1 TASCAM: DA-25
	Mini Disk Recorder	1	SONY: MDS-B5
	Compact Disk Recorder	1	1 CDR-4X-1000
	Compact Disk Player	-	TASCAM: 301MK2
	Digital Sampler	1	AKAI : S3200X, MIDI
	Digital Multi-track Disk Recorder	-	ROLAND : DM-800
	Digital Mixer	1	YAMAHA: PRO MIXO1
	Synthesizer	1	N364
	Sound Source	1 F	ROLAND: M-GS64
	Multi-effect Processor	-	1 SONY: DPS-V77

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1996 (PURCHASED IN JAPAN)

		S	Model
Course	Equipment	-11	
	Graphic Equalizer	-	ROLAND: EQ-231
	Cassette Deck	2	2 TASCAM: 102MK II
	Microphone	4	4 SONY: F-740
	Sheaker-1	4	4 SONY: SMS-1P(B)
	Speaker-2	2	2 YAMAHA: NS-10M STUDIO
	Headphone	4	4 KOSS: PRO/4XTC
	MIDI Interface	2	2 STUDIO 4
	Image Scanner	1	1 Nikon : Scan Touch for Windows
	Film Scanner	1	Nikon: CoolScan for Windows
Course B	CCD Camera	1	CHINON: ES-3000
) }	High Resolution Digital Printer	1	Fuji Film: PICTROGRAPHY ES-3000
	Color Ink Jet Printer	1	1 HP: DesignJet 750C Model-A0
	MO Disk Recorder	1	FUJITSU: SMB-640
	Video Capture Board	-	DC-20
	Software	Ŋ	5 Mathematica
	Software	32	32 3D Computer Graphics VR Workshop
	Software	-	1 Micrographics ABC Graphic Suite
	3D Digitizer	Ţ	1 Micro scride 3D
	Perceptional Video Recorder	-	1 Perceptional Video Recorder
	Workstation	2	2 SUN: SUN ULTRA 1 SYSTEMS MODEL 170E
			Ultra SPARC-1/167MHz,128MB RAM,2.1GB+4GB HDD,
			20 inch Color Monitor, SOLARIS 2.5
SeC	Course C Personal Computer	2	2 NEC: PC9821 15 inch Color Monitor, 16 MB RAM, 1.6GB HDD
i 1	Up-grade kit for Stationary Robots	1set	1set I/O Extension Adapter,CCD Camera etc.

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1996 (PURCHASED IN POLAND)

Course	Equipment	S S	Model
	Personal Computer	63	63 INVAR: Pentium 166MHz, 64MB RAM, 2GB HDD, 17 inch Color Monitor
	Risk Unix Server	-	1 Hewlett Packard: HP-9000 Model K210,4.3SPECint,128MB RAM,12GB HDD
	Risk Unix workstation	-	1 Hewlett Packard: HP-9000 Model c110,160SPECint92,64MB,4GB HDD 20inch Color Monitor
Common	Color Laser Printer	_	1 Hewlett Packard: HP-Color LaserJet 5
	Network Laser Printer	12	12 Hewlett Packard : HP-LaserJet 5M
	Lan System Up-grade	1set	1set ANDRA: LAN Up-Grade
	Copier	-	Mita: DC-6090,AS-S 5120 Stapler/Sorter,Hole Punch Unit Automatic Stacker SK-1,
	Software	F-	APEXIM: MKS Vir
	Software	9	6 Mathematica
	Software	-	Power Builder Ver.5.0
Course A	Software	1set	Rose/C++Ver.3.0,Rose/Visual Basic,Rose/SQL Windows 2.7
	Software	-	Easy Case Pro for Windows
	Software	-	1 Base SAS

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1996 (PURCHASED IN POLAND)

Course	Equipment	NO.	Model
	Graphics Workstation	_	Silicon Graphics: Indigo2-High IMPACT 10000,128MB RAM,HDD 6GB, 20 inch Color Monitor
Course B	Course B Network Unix Workstation	1	SUN: SUN ULTRA 1 Model 170E, SPARC 167MHz, 128MB RAM, HDD 2.1GB, 20 inch Color Monitor
	Software	1	Autodesk 3D Studio
	Software	-	World Tool Kit for Windows NT
	Basic Electronics Laboratory Kit	1set	Modul TC-7 etc.
	Oscilloscope (20MHz)	6	9 MC-3502C
	Oscilloscope (100MHz)	2	2 OS-9100D
Course C	Course C Multifunction Device		11 MX-9300
	EP-ROM Programmer	m	SE-PROG
	Emulator	2	2 Emulator Z-80
	Stationary Robot	2	2 Motoman Robotics : SK6 6 Axes Industrial Robot
	Software	-	BrainMaker

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1997 (PURCHASED IN POLAND)

Course	Equipment	9	Model
	Personal Computer	31	31 Zenith Z-station VEGA: Pentium II 266MHz,64MB RAM,
			Sound Blaster AWE 64, 17 inch Color Monitor,
			Software(Windows NT4.0 Workstation, MS Works etc.)
	**************************************	-	1 Zanith Z-Sanvar · Dantium Dro 200 MHz 256MB RAM
	Sel vel		RAID 9.1 HDD*3+2.1 GB HDD.DAT.14inch Color Monitor.
Common			Software(MS-DOS 6.22)
	The state of the s		
	Software	16	16 Mathematica 3.0 Pro
	Copier	-	1 Mita DC-6090, AS-S 5120 Stapler/Sorter, Hole Punch Unit,
			Automatic Stacker SK-1
	Risc Unix Graphics Workstation	R	5 02 Workstaion, 1 X 5000SC, 180MHz, 64MB RAM, 4GB HDD,
			17 inch Color Monitor, IRIX6.3, Video I/O
	Risc Huix Granhics Server	-	1 ONYX 2 Base Reality DS 1 XR10000.180MHz.1MB Cache.
		-	128 MB RAM, 16MB TexMem, DLT, 9.1GB HDD, 24inch Color Monitor,
Course R			IRIX 6.4
5	Software	S	AUTOCAD Version-R14
	Software	15	15 3D Studio Max 2.0
	Software	r.	5 Exceed 3D for NT-Open GL
	Software	ις	5 Matlab

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1997 (PURCHASED IN JAPAN)

	- Constitution of the	CN	Model
Course	Parallel Processor	1set	1set Hitachi: 8 Parallel Processor for Hitachi SR2201 Up-grade
	Workstation	12	12 Science Paradice : DRAGON 533-128M/NT 128MB RAM, 2GB HDD, 8GB DAT, OPEN GL CARD,
Common			17 inch Color Monitor Software(Fortran Ver5.0,Visual C++,Lightwave3D etc.)
	3 Dimension Color Scanner	1	1 3030RGB/PS, COLOR MONITOR
Course B	Liquid Crystal Projector	-	1 ELMO : EDP-5000,Screen
	i Vivortolodo I colocatorio I i	4cot	Asst Stenning Motor DC Serbo Motor, Logic Analyzer etc.
	Advanced Electronics Laboratory Nit	r t	
	Personal Computer	-	NEC: PC-9821 V166,17 inch Color Monitor
Course C	Laser Printer		Laser Jet 5000
	Personal Computer		IBM: PC3000GL,PENTIUM 166MHz,16MB RAM,2.5GB HDD, 15 inch Color Monitor

List of Equipment for JICA-PJICT Project in JFY1998 (PURCHASED IN POLAND)

NO. Model	48 DELL / Pentium II 233MHz,64MB RAM,3 GB HDD + Sound Board, 17 inch Color Monitor, 20 Software(Windows NT4.0 Workstation,MS Works etc.)	1 DELL / Pentium Pro 200 MHz, 128MB RAM,10 GB HDD DAT,14inch Color Monitor, Software(MS-DOS 6.22)	1 Geodan / GIS Map Information System	Geodan / Electronic Map of Poland	1 Pallas / MPI/PVM Debugger for Hitachi Supercomputer SR2201	1 Pallas / Performance Analizer for Hitachi Supercomputer SR2201	1 SG / Digital Video Option for ONOYX 2	2 ActivMedia / Wheel type Mobile robot,Gripper Unit,Radio Modem etc.	2 Motoman / Gripper Unit & Control Software for Motoman SK-6	2 Intel i960 C/C++ Compiler	1 Sun OS C/C++ Compiler	2 ActivMedia / Pentium 233MHz,32MB RAM,4.77 GB HDD
Equipment	Personal Computer	Server		Sortware	Software	Software	Multimedia Video System	Mobile Robot	Up-grade Parts for Stationary Robot	Robot control Software	Robot control Software	Mobile Robot Control Computer
Course		Common	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Course A		Course B					Course C	·

Equipment Purchase Plan for JICA-PJICT Project in JFY1999 (PURCHASED IN POLAND)

j	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- C!X	laboM
Course	Equipment	<u>.</u>	
	Network Terminal(PC)	14 D	14 DELL / Pentium II 400MHz,64MB RAM,4.3 GB HDD
-		+	+ CD-ROM Drivex32, FDD 1.4MB Sound Board, 15 inch Color Monitor,
		23 S	23 Software (Windows NT4.0 Workstation, MS Works etc.)
Common	Network Switch	1 3	3COM / OIS Layer3 High function switch
3		0	Chassis, Redundant Power Supply, Down linkx2, Switching HUBx8
		S	Software(MS-DOS 6.22)
		_	10/100MB Eathernet Module, 100FX Eathernet Module
	FFP Server	-	HP / CPU PA-RISK 100MHz, Main Memory 512MB, 9GB HDD, CD-ROMx24
		S	Software, 3COM 100Base Eathernet Switch
	Terminal for Supercomputer	3 N	3 Microway WS / CPU DEC a -chip 533MHz, Main Memory 128MB, 4.5GB HDD
Course B		O	CD-ROMx 32, Monitor 17", Digital UNIX
3	Software	1	1 Fluent 5.0 for Supercomputer
	Software	-	Forge Explore, xHPF for Supercomputer
	Software	1	1 DEC Campus
	Coftware	2 1	2 Matiab Module
	Un-grade Parts for Mobile Robot	2 4	2 ActivMedia / SICK LMS Laserx2, Gripper Unit
	AD/DA Converter	1	1 TD- Electronics
Course C	Course C Data Transmiter Reciever	2 6	2 GURU / CCD Camerax3, Wreless modemx6, PCI bus o/p card
	Radio control set	2 1	2 Tamiya Tank DMD controller
	PC for Robot control	3 0	3 DELL / PentiumIII 600MHZ
	CCD Camera & Monitor	1.5	1 Sony / XC-003x2, C-mount Lenz x3, 14" color monitor
	Image I/O Board	5 11	5 Imagenation / PCI color flame grabber
	Singnal measurement board	5 6	5 GURU / PCI Bus-mastering Data Acquision Card

Equipment Purchase Plan for JICA-PJICT Project in JFY2000 (PURCHASED IN POLAND)

Course	Equipment	NO.
	Network Terminal (PC)	32 DELL / Pentium 11, cashe 128KB, RAM 64MB, Graphics, Network card
		4.3GB HDD, 1.4MB FDD, CD-ROM Drive, 15 inch Color Monitor,
		Software(Windows NT4.0 Workstation, MS Works etc.)
	Network Switch	1 CISCO Catalyst 6009 / Chassis, Power Supply, Supervisor IIIG
,		Route Switch Feature Card, RFSC, Flash Image, 24ports 10/100TX Backbone
		Software license, 5 Slots 3.6Gbps Back plane
	Internet Connection	1 Network passive equipment 150 points
Common	Audio-Visual System for Auditorium	1 LCD Projection system. Loudsneaker/Audio system Visual Source Equipment
		Central control system
	Network Server	1 DELL / Pentium III Xeon Processor x2, Secondary cashe 512KB,
		System Chipset, Main memory 512MB, 6x9GB HDD, SCSI Streamer SCSI Scartfollor PCI 1 AMB FDP, CD POM, 40, 47, 91, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 1
		SOSI COTTUBIEF, PCI, 1.4MB FUD, CD-KUMX4U, 17" Monitor, Windows N
	Database Server	1 DELL / Pentium III Xeon Processor x2, Secondary cashe 512KB,
Course A		System Chipset, Main memory 512MB, 6x9GB HDD, SCSI Streamer
		SCSI controller, PCI, 1.4MB FDD, CD-ROMx40, 17" Monitor, Windows NT
	Network switch for pallarel computing	4 3COM SS3300 /
Course B		10/100 Base -TX 12ports, ATM port, VLAN, 802.1p Cos Support 802.3x/FM support, 1200 MAC Address Support

				:						N. T.	儒 妻 (注) 技術發彰	
	-				丰	×I	ĸ		44	47.42.71	まり (人) スペックサインオの名を合うには、	1 米爾存地
分野	EL A	C/PR始	孙	H8 · 96/97	H9 · 97/98 H	H10 · 98/99 H	11 · 99/00	H12 · 00/01 4 10	* E * E * E * E * E * E * E * E * E * E		/ ixymi eltrx/ルチャ 関するコメント等	I I
	_	19年光瀬					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	watermanner	H12 · 5	场玉大学		
中長	_	1 Jerzy Pawel Nowacki	. 1						H12 · 5	塔王大学		
登為禮	-	2 Witold Kosinski	Prof.						Ha . 10~11	格米出幹		
計点體	-	3 Maciej Dubejko	Ph.D.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	anner management and a				Ho 10~11	極米出聲		
1 1 1 1 1 1 1 1	+		Ph.D	manus	mmmmmgenmm	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	***************************************	- 1		(H)		
11年12	\dagger	wski	0.49	www.www.www.www.www.www.www.www.www.ww	monogenerous	anner anne	www.www.www		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ナくまな		
₽. H	1	toyo acitoribose Last	one me	inaprina								ĺ
Informat	ouo:	duction syst	1010	8	6	***************************************	acceptation of the second seco	000000000000000000000000000000000000000	111.1~2	塔玉大学		∢
		1 L. Banachowski	rn.U.	0000			+					
	<u>L</u>	2 K. Subieta	D.hab		, meenenen		_					
	1	3 P. Dembinski	Prof.	······································								
		4 I Zahrodzki	Prof.	***************************************	***************************************	***************************************	***************************************	***************************************			and the second s	
	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	5 1 Mielniczuk	D.hab		oproprocessor special section of the	manusamman	management of the second of th	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
		G 1 Koropacki	Prof.		**********	Marin		**************************************				
ŧ		2 H V cmcrowski	Prof			www.menessessessessessessessessessessessesses		ANAMANANANAN				
胀	! -	/ II. NOITIOLOWSKI					W. Contractor Contract	ANNOTATION OF THE PROPERTY OF		_		
,-	<							ANAMAN WANTON PARK				
ተ	<u>. </u>	9 I. Jokisz	Ph.D.					vocasomentos (contratos (contrato				
占	1	10 E. Mrowka - Matejewska	M.Sc.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	D0000000000000000000000000000000000000	***************************************	-		1111 7-10	使十月华		
į		11 P. Eidvs	M.Sc.		***************************************	**************************************	mmantentemm		212	+<4		
		TO A Chadayneka	M.Sc.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	***************************************	······································	-51	***************************************				
		13 E Stemnosz	Ph.D				-3-1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
		100 min T 100 mi	N C	anne Millianne	······································	The second secon		***************************************				
			100					Annamanan Annamanan				
		15 J. Wierzbicki	M.34.									
		他 非常動10名										
Sveter	is and	Systems and network software										
		1	M.Sc.		***********	**************************************	***************************************	***************************************	6 05	(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	ď	2 A Pokrywko			monement	mountain mountain man and a second a second and a second	Latinthesenmonement	**************************************	0~5.0IH	1911/2+		۵
)		Ph.D.	/////	***************************************	***************************************						3
ŧ	!.	A T Malianus Vi *	N V	ANNONA	COOK COOK COOK COOK COOK COOK COOK COOK	viente de la company de la com	NAMES OF THE PERSON OF THE PER	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				K
₩ (D hab		oocoecoecoecoec	possession of collections	soccoonsecutive the state of the secure of t	>00000000000000000000000000000000000000	H10.9~12	场出大评		ر
υĦ		J W. Ladde	Prof		annaman,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-	***************************************				
eţ·	1	6 A. Johnson	454		999000000000000000000000000000000000000	Processor and Pr	nonoscoppolescor-servous approximations (see see see see see see	200000000000000000000000000000000000000				
Þ	ــــــ ر	/ K. UIKS	20.7			S. S. S. S. S. S.	[H commonsorous common	Homeonoonoonoo	10.6~H11.2	L.		
		8 J. Borkowski	M. V.	000000000000000000000000000000000000000			1	***************************************	H12 · 7~9	一茶城大学		
	l	9 A. Smyk	M.Sc.		*******							
	•	10 P. Chrzastowski-Wachte	Ph.D.		www.	***************************************						
Applica	Tion 0	Application of Artificial Intelligence to decision making systems	ın makı	ng systems								c
<u>.</u>		1 Witold Kosinski	Prof.				Avenance and a second	······································				,
鯏		2 J.Koronacki	Prof.	***************************************		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.ъ.	**************************************	0	₩ ₩ ₩		
<u>;</u> ~		3 D. Slezak	M.Sc.	12	**************************************	www.www.phybushwww.www.www.cocococococococococococococo	***************************************	ANNAMENT COSCOCIOS	~	場はく中には、		
n ja	<u></u>	4 6. 6002	M.Sc.		***************************************		mmmy	***************************************	H11·7~10	多世大平		
‡ ±		S S Hoa Nativen	Ph.D.	economic de la constante de la	· ·	MANAGEMENT TO THE PROPERTY OF		***************************************				
*		J. Moblewski	ΜSC			000000000000000000000000000000000000000	**************************************	AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA				
		O. J. WI CONTRACTO										

	ラボ黄任者		Į	щ			ш.			ĵ.	十割												(아 젊급						÷		
備考(注)技術移転	/技術習得状況等に	関するコメント等																													
班像	主な研修先				塔玉大学		埼玉大学	茨城大学				场出大平																			
本邦 研修	年度/月	*日			6~8·6H		H10.9~10	H12 · 9~11				H8 · 8~12																			
	412 - 00/01	4 10		umminum	mannem	wwwwwwww	000000000000000000000000000000000000000	***************************************	wwwwwwwww	www.www.www	***************************************	unnammente			······································	000000000000000000000000000000000000000	accommens	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		000000000000000000000000000000000000000	***************************************	······································		wwwwwwww	www.commonwer	······································	**************************************	
民	11 - 99/00	10		-			0,0000000000000000000000000000000000000			-	***************************************	***************************************			, mare and a second	000000000000000000000000000000000000000		***************************************	· more management	***************************************	***************************************	-	***************************************	***************************************	-	·············	orressessesses	-	december of the second	-	
关	10 • 98/99	4 10 4 10 4 10			ujuummaaaaaaaaa		a conservation and parties of	www			xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	mannamananan				accessosososococococococococococococococo		× 000000000000000000000000000000000000	***************************************	······································	A TONOR OF THE PARTY OF THE PAR	***************************************	000000000000000000000000000000000000000	**************************************						ALLEGE CONTROL	
輕	7/98				manamananan manamanan manamanan manamana		соторожно просторожно посторожно пост				>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	unmannit attention mannen			MARKATA MARKAT	OCCOSEDADADADADADADADADADADADADADADADADADADA	sussessment and an analysis of the second se	WWW.WW.WW.WW.WW.WW.WW.WW.WW.WW.WW.WW.WW	A CONTRACTOR CONTRACTO	wareness.	COMPANY TO THE TOTAL PROPERTY OF THE PROPERTY	www.	000000000000000000000000000000000000000	ujuman.						warenes	
28	H8 · 96/97		systems		***************************************		00,000,000,000,000,000,000,000		,		000000000000000000000000000000000000000	man mitter the man			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	000000000000000000000000000000000000000		000000000000000000000000000000000000000	***************************************		************		200000000000000000000000000000000000000								
	学位下		making	Ph.D.	M.Sc.	M.Sc.	_	M.Sc.	M.Sc.	M.Sc.	Ph.D.	Ph.D.			Ph.D.	Ph.D. №	Ph.D.	Ph.D.	Ph.D.	Prof.	Ph.D.	M.Sc.	M.Sc.	M.Sc.	D.hab	M.Sc.	M.Sc.	D.hab	D.hab	M.Sc.	
	C/P压条	星印は非常動	Application of Artificial Intelligence to decision making systems	7 A. Wieczorkowska		wski		11 A. Szmiegielski		cz	14 J. Bober	15 M. Szczuka *	他 非常動/名	Basic courses and others	1 J. Bielecki	2 P. Nowacki	-52			6 A. Bernacki	7 A. Wolinski	8 E. Mackiewicz	9 M. Rzeznik	10 A. Godlewska	11 M. Mirkowska-Salwiacka	12 P. Habela	13 M. Sydow	14 V. Alchiits	15 F. Seredynski	16 M. Cieciora	44 李一拳471至
-	E.		ation of ,		i w	_		Ĭ <u>.</u>	щ	<u> </u>	ľ	Γ	 	courses a		<u></u>		1_	<u>_</u>	1			<u></u>	ľ	<u></u>	<u></u>		<u></u>	<u> </u>		
	竹竹	Ŧ R	Applica		罀		m)	鲥		枓			Basic c				英	鰯	816	쨎		_								

6. 日本側/相手国側投入実績一覧表

6-2 (現地活動経費)

(調整員氏名 中村富士夫)

平成12年度 第3四半期

0-2(現場占拠権項)					(単位:千円)
世世紀分	平成8年 96/97	平成9年	平成10年 98/99	97/98 平成10年 98/99 平成11年 99/00	平成12年 00/01
二人报经帐户	9.016	8.841	7,260		
大心来勿及口叫————————————————————————————————————	5,830		5,460	2,000	
- n	1,800				
<u>#</u>			0	1,000	200
克迪罗氏女 伊金拉德斯	1,386		0	0	
实施計画器對	i v	•	C	·	
期地語数科書作成習	006,1	760'1			

6-2 (相手国投入実績)

(単位:米ドル)

						ŀ
4 色 任 厨	平成7年 95/96	6 平成8年 96/97	, 平成9年 97/98	平成10年 98/99	平成11年 99/00	平成12年 00/01
ا بر <u>ما</u> لا ما	414.000	-	1,148,536	1,721,714	1,644,390	予算 2,338,755
 	420.000		1,148,536	1,721,714	1,644,390	予算 2,338,755
X			檢算率3.4PLN/USD	換算率3.5PLN/USD		換算率4.1 PLN/USD 換算率 4.5PLN/USD
	第1萬功(5.1			第1 轉攻 (11, 2)	第1專攻 (14, 4)	第1專攻 (15, 10)
	第0両功(7.9	. ~		第2専攻 (8, 5)	第2專攻 (10, 10)	第2專攻(10,10)
	第3車功(5.2			第3 専攻 (7, 14)	第3專攻 (12, 14)	第3専攻(14,7)
	其勝鄭疑(4 53)			基礎課程 (10, 27)	基礎課程 (11,32)	基礎課程 (16, 41)
	3			事務職員 (9, 2)	事務職員 (12, 7)	事務職員 (15, 15)
中田七四 游泳様 艾	バンコン40台及2	バソコン40台及び増 UPS、スパコン用空調 校舎改築	調校舎改築	ネットワーク機器	新校舎建設	新校舎建設
	×+:1	40pcs, 47K 77K	教職員用机・椅子、	パンコン48台	をおる。	
	デルギ・モニター	学生用机	学生用机・椅子、		ネットワーク機器	ネットワーク機器
er.	教聯昌用机·梅子、		パンコン614		パンコン324	パンコン64句
	学生用机・椅子、		ネットワーク機器		ソフトウェア	ソフトウェア
	本箱・キャビネット、					ベーヤ
	電話機、他					

巻末資料 13. ポ日大の予算の推移

予算の推移(US\$	١.	ı							
------------	----	---	--	--	--	--	--	--	--

ア県(の推移(US\$)	95/96	96/97	97/98	1999	2000	2001	2002	2003
	入学金	27,000	66,000	86,800	146,000	227,000	268,000	420,000	462,000
	八子並	6.5%	6.7%		7.7%	9.4%	9.5%	12.6%	12.39
		369,000	771,120		1,548,000	2,000,000	2,355,000	2,786,000	3,120,000
	127671	88.7%	78.7%	83.1%	81.7%	82.6%	83.1%	83.3%	83.49
	雑収入	20,000	30,000	78,916	86,000	80,000	94,000	110,000	120,000
玖	オエコスノへ	4.8%	3.1%	4.8%	4.5%	3.3%	3.3%	3.3%	3.29
*/	研究助成金	4.0%	0.170	0	1,500	1,500	5,000	30,000	40,000
	101 7 C 2017 X 3 M	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.9%	1.19
	カウンターパート基金	0	113,200	113,200	113,200	113,200	113,200	0.070	
	77 7	0.0%	11.5%	6.9%	6.0%	4.7%	4.0%	0.0%	0.09
	승計	416,000	980,320	1,647,461	1,894,700	2,421,700	2,835,200	3,346,000	3,742,000
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		100,070	100.070				1001070	,00,0,0	100.07
	人件費	357,680	745,680	1,295,360	1,177,000	1,306,000	1,541,000	1,870,000	2,100,000
		84.8%	76.1%	78.6%	62.1%	53.9%	54.4%	55.9%	56.19
	研究費	0	0	15,000	54,500	69,500	82,000	120,000	140,00
		0.0%	0.0%	0.9%	2.9%	2.9%	2.9%	3.6%	3.79
	教育プログラム開発費	0	113,200	113,200	113,200	113,200	113,200	0	(
		0.0%	11.5%	6.9%	6.0%	4.7%	4.0%	0.0%	0.0%
		24,000	28,800	16,862	46,000	51,000	60,000	80,000	90,000
	建物增改築費	5.7%	2.9%	1.0%	2.4%	2.1%	2.1%	2.4%	2.49
						386,000	350,000	400,000	400,000
						15.9%	12.3%	12.0%	10.79
	機材更新・保守費	10,000	15,000	32,000	62,000	134,000	260,000	300,000	350,000
		2.4%	1.5%	1.9%	3.3%	5.5%	9.2%	9.0%	9.4%
支出	インフラ整備費	0	40,000	24,945	50,000	52,000	59,000	70,000	80,000
		0.0%	4.1%	1.5%	2.6%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%
	光熱費・事務費	24,000	28,000	80,688	123,000	182,000	220,000	270,000	310,000
		5.7%	2.9%	4.9%	6.5%	7.5%	7.8%	8.1%	8.3%
	広報費	3,000	3,500	5,535	50,000	70,000	80,000	90,000	100,000
		0.7%	0.4%	0.3%	2.6%	2.9%	2.8%	2.7%	2.7%
	その他	3,000	4,000	53,736	117,000	48,000	64,000	96,000	120,000
		0.7%	0.4%	3.3%	6.2%	2.0%	2.3%	2.9%	3.2%
	予備費	0	2,140	10,135	102,000	10,000	6,000	50,000	52,000
		0.0%	0.2%	0.6%	5.4%	0.4%	0.2%	1.5%	1.4%
	合計	421,680	980,320		1,894,700		2,835,200	3,346,000	3,742,000
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
177 7		-5,680	o	ol	0	o	0	ol	
ıκ Λ.	×Ш	1 -0.0001	U	. 01	U	ı U	. UI	. UI	

Linear algebra and geometry	7 Fetting 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Winter E.	Summer Williams	Winter Summer	Tatum Minter	Summer
ALG 2 2 2 MAD PRG1 2 4 5 PRG1 2 4 6 PRG 0 2 6 PRG 0 2 6 MAI 2 0 6 MAI 2 0 6 MAI 2 0 7 MAI 3 0 7 MAI 3 0 7 MAI 3 0 7 MAI 5	222202022222222222222222222222222222222			3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		
MAD 2 2 4 PRG1 2 4 DKC 0 2 5 UKO 0 2 5 UKO 0 2 5 HKJ 2 0 4 HKJ 2 0 4 ANI 2 2 2 SKD 2 2 2 FRG 1 2 2 SKD 2 2 2 SKD 3 3 3 SKD 4 3 SKD 5 5	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	uu uu aa a				
PRG1 2 4	~ ~ 0 ~ ~ 0 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~					
TAK 2 0 0 2 NWO 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	200200222222222222222222222222222222222	2 Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z				
UKO	020022212222222222222222222222222222222	7		7		
PPB 2 2 2 4 HKJ 2 0 4 AM1 2 0 4 AM2 2 2 2 RBD 2 2 2 RRG2 2 2 2 RRG2 2 2 2 RRG3 2 2 2 SKO 2 2 2 SKO 2 2 2 SKO 2 2 2 SKO 2 2 2 RRG3 0 2 2 RRG3 0 2 2 RRG3 0 2 2 RRG3 0 2 2 RRG4 3 2 2 RRG5 0 2 2 RRG7 2 2 2 RRG8 3 2 2 RRG9 2 2 2 RRG9 3 3 3 RRG9 3 3 RRG9 3 3 RRG9 3 3 3 RRG9 3 3 RRG9 3 3 RRG9	220222222222222222222222222222222222222	2 2		3 3		
HKJ 2 0 0 ANG 0 4 4 ANI 2 2 2 ANI 2 2 2 ENEC 2 2 2 FRG 1 2 2 FRG 1 2 2 SOP 2 2 2 FRI 2 2 FRI 2 2 FRI 2 2 2 FRI	202222222222222222222222222222222222222	Z Z				
AM1 2 AM1 2 RBD 2 ASD 2 ASD 2 PRGS 1 PRGS 1 SOP 2	0 2 2 2 2 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
AM1 2 RBD 2	2222-2222222222222222222222222222222222					
ASD 2 ASD 2 PRG2 2 PRG2 1 PRG2 1 SOP 2 SNO	222-22222000000000000000000000000000000					
ASD 2 PRG2 2 PRG 1 SPG 2	22-202280222222222					
PRG2 2	2-2222222222222222222222222222222222222					
FPG 1 SQP 2 SQP SQP 2 SQP 2 SQP 2 SQP 2 SQP 2 SQP 2 SQP	- 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
SOP 2 SKO 2 SKO 2 SRD 2 SRD 2 ELK 2 GRK 3 GRK 3 GRK 3 GRK 3 ANS 2 ANS 2 FRI 2 BSI 2 FRO	222222222222222222222222222222222222222					
SKO 2 AM2 2 SBD 2 SBD 2 ELK 3 FRG3 9 ANS 2 ANS 2 ANS 2 PRG3 9 PRG3 9 ANS 2 PRO 2 PRO 2 PRO 2 PRO 2 SKO2 2 POD 2 POD 2 POD 2 SCO 2 Corrected 2 SKO2 2 SCO 2 SCO 2 Corrected 2	222222222222222222					
AM2 2 SBD 2 SBD 2 SBD 2 SBD 2 SEK 3 GRK 3	222802222222222222222222222222222222222					
SBD 2 SBD	2280222222222222222					
ELK 2 GRK 3 GRK 2 GRK 3	2802222222222					
GRK 3 3 PRG3 0 2 ANS 2 2 ANS 2 2 AND 2 2 FRI 2 2 MUL 3 2 MUL 4 2 MUL 5 3	600000000000000000000000000000000000000					
PRG3 0 PRG3 0 SAD 2 SAD 2 SAD 2 PRG 2 SAD 2 PRG 2 SAD 2 PRG 2 PRG 2 SAD 2 PRG 2 SAD 2 PRG 2 SAD 2 PRD 2 PRD 2 PRD 2 SAD 2 PRD 2 PRD 2 SAD 2 SAD 2 SAD 2 PDD	0 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
ANS 2 SAD 2 SAD 2 FRI 2	22222222222			3/43/3/		
SAD 2	000000000000000000000000000000000000000					
PRI 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			3 7		
MUL 2	222222			3		
TEC 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2			<i>'</i>	244	_
String of information systems	2 2 2 2 2 2		+	STATE OF THE OWNER, TH		
teerns SrD 2 teerns Asia SrD 2 brolect management POZ 2 brolect management POZ 2 NAI 2 NAI 2 NAI 2 NAI 2 PRO 2 Cost calculation RZR 2 Cost calculation SKO2 2 E.F. specialization SSCO2 2 Cost calculation SSCO3 2 Co	2 2 2 2 2				ıı.	
Steins S	2 2 2 2				- E	
POZ 2 2 2 2 2 2 2 2 2	222 2				3	
	2 2 2					3
lifty PRO 2 specialization Z 2 d cost reliculation RZR 2 Cspecialization SKO2 2 E.F. specialization ISS 2 c. specialization POD 2 C. specialization POD 2 ms ZSO 2 ms ZSO 2 E.F. specialization 2 2 ms ZSO 2 E.F. specialization 2 2 ional method of inferences KNW 2	2 2					3 1
Indity	2			2	2	7
RZR 2	2					
RZR 2 2 2 2 2 2 2 2 2					u	
SKO2 2 SKO2						
SKO2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2				ы	
ISS 2						
SS 2 2 2 2 2 2 2 2 2	_				3	
POD 2 ZSO 2 rierences KNW 2	ISS					
POD 2 2SO 2 iferences KNW 2	2					3
z ZSO Z ZSO Z Z ZSO Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z				+	-	
vierences KNW 2	2					3
nferences KNW 2						
ı ferences				-		3
	KNW					
			_			
Weekly hours of lectures in semester		12	11	-		80
Weekly hours of practises in semester		16	16	17 16	14	12
Washington for endant in cometer		28	27	28 28	3 24	20
		<u> </u>		-		

	400	É	FOLIA	1	1st year	2 nd	2nd vear	3rd	3rd year
Subject		Lecture	Fractise	Winter	Summer	Winter	Summer	Winter	Summer
in the control of the	ALG	2	2	u.				1	
The alumentary and year of a	MAD	2	2	1					
Jean Maring Maring	PRG1	2	4						
-rogramming t	TAK	2	0						
Computer techniques	UKO	0	2)	. Z					
Computer tisst approach.	Bdd	2	~	Z					
hastes of otherwise over	X	2	C	7					
motory and culture of Japan	ANG	0	7	7	2	2	2	7	7
English Anathomatical analysis	AM.	2	2		'n				
Mathematical distribution	RBD	2	2		ш				
Keid (Oliai Uni abdasa)	ASD	2	2						
Algorithms and data su acters	PRG2	2	~3		3				
וריטעות אווויוויון על פריטעות איני איני איני איני איני איני איני אינ	FPG	-	2		7				
Dasic attendigitient	ags	2	2		2				
Cheration System and dealer application	OXS	2	2			.			
Computer networks	AM2	^	2			a			
Self-self-self-self-self-self-self-self-s	SBD	2	2			ш			
Statement algorithms to concern the statement of the stat	FIK	2	'n			. E			
Electronics	GRK		~			3			
Computer grapting	PRG3	0	2			2			
Programming and and using fine programme systems	SNA	2	2				E		
Mannan and analysis of mountaining systems	SAD	2	~				Z		
Statistical data analysis	2 2		2				in and		
Designing of information systems	184		~						
Multimedia	TEC	2	, (2		
Digital techniques	1 1	J C	,	-				i.	
Creation, Integration and testing of information systems	L CA	,	7 0						
Dialog systems	OTC .	٦, ر	,					12	
Security of information systems	BSI	7 1	7 (u
Planning, organization and project management	70d	7	× ,						J
Artificial intelligence tools	Š	2	2						
Project (A, 8, C, D, E i F)	PRO	2	2				7	7	7
Lectures for each speciality								1	
Monographic lecture for A specialization		2	2					- E	
Mangement accounting and cost calculation	RZR								
Monographic lecture for B. Cspecialization		2	2					u u	
Computer networks2	SK02								
Monographic lecture for D.E.F specialization		2	2					4	
Intelligent control systems	iSS								1
Monocraphic lecture for A specialization		2	2					-	2
Company taxation	POD							-	
Monographic lecture for 8,C specialization		~	7						u)
Advanced operation systems	OSZ								-
Monographic lecture for D.E.F specialization		~	2						ш
Conventional & unconventional method of inferences	WN.X								2
The state of the s									
				12	=	-	1.2	5	80
Weekly nours of rectures in seniestel	-			1 4	, u	17	4	1.4	12
Weekly hours of practises in semester				- 6	2 2	- ?	2		1 6
Weekly lecture's loading for students in semester				28	27	58	87	42	3

l_	100	ماري	Hours		-EVENING STUDIES PROGRAMM	S-PROGRAMS	2nd vear	lear.	3rd vear	ear	474	4th year	Refer
	pafanc	2000	Lecture	lac.	Winter	Summer	Win	Summer	Winter	Summer	Winter	Summer	
Ľ	1 inear ploebra and geometry	ALG	2	2	ı.						-		
Ľ.		MAD	2	2	_ E								
Τ.		PRG1	_	4	Э								
L		TAK	2	0	E								
Ĺ	S Computer first application	o Y O	0	2	7								
	6 Enaish	ANG	0	2		7	. 2	7	- 2	Z	2	7	
L	7 Basics of business law	Bdd	-	2		7							
<u> </u>	8 Mathematical analysis 1	AM1	2	7		ш							
	9 Computer networks	SKO	2	7		ш							
١Ξ	10 Algorithms and data stracters	ASD	2	2		ш							
:	1 Programming2	PRG2	2	2		m							
-	Basic accounting	FPG	1	2			7						
r.	Relational databases	RBD	2	2			E						,,,,,,,
<u>-</u>	Mathematical analysis2	AMZ		2									
ĮĒ.		PRG3		2			. Е						
1	em and basic application	SOP		2									
1		Ë		ო				E					
L	plications of telecommunications	SBD		7				E					
15		SE SE		2				3					
000	Statistical data analysis	SAD		2				7					
10	Planning and analysis of information systems	ANS		2					E				
1 1		PR		2					ш				
23	3 Multimedia	MUL	2	2					В				
~	24 Digital techniques	TEC	2	2					2				
7	25 Creation, Integration and testing of information systems	WYT	2	2						ш			
Ñ	26 Dialog systems	SYD	2	2						J		1	
27	7 Security of information systems	BSI	2	2						3	N TERROTOTO POR SEC	090000000000000000000000000000000000000	
Ñ	28 Project (A, B, C, D, E i F)	P.RO	2	2						7	2	7	
نہ	29 Artificial intelligence tools	NA	2	2							ш		
ñ	30 Planning, organization and project management	POZ	2	2							ш		
	Lectures for each speciality												
L.	1 Monographic lecture for A specialization		2	2					E				
	Mangement accounting and cost calculation	RZR											
	2 Monographic lecture for B ₁ Cspecialization		2	2					3				
	Computer networks2	SKOZ											
	3 Monographic lecture for D, E, F specialization	,	2	7					ц				
	Intelligent control systems	2		,						4			
1_	Compact tayorion	604	•										
	5 Monographic lecture for B.C specialization		2	2						_ E			
L_	Advanced operation systems	OSZ											
Ĺ	6 Monographic lecture for D.E.F specialization		2	2						Е			
Ц	Conventional & unconventional method of inferences	KNW											
												1	
	Construit and the second secon			i									
L	Weekly hours of lectures in semester				8	7	7	80	8	10	80	4	
	Weekly hours of practises in semester				12	10	12	10	=	12	10	9	
	ESWeekbylegsure's loading for students in semester				50	17	20	18	- 61	22	9	9	
]													

Sirkiect	Code	Hours		EVENING STUDIES PROGRAMM 1st year	S PROGRAMM rear	2nd	vear	3rd year	ear	4th year	/ear	Refer
	;	Lecture	ract	Winter	Summer	Win	Summer	Winter	Summer	Winter	Summer	
1 Linear algebra and geometry	ALG	2	2	3 🗸								
	MAD	2	2	E ()								
a processmina1	PRG1	-	4	H								
4 Computer technicies	TAK	2	0	9								
5 Computer first application	OXO	0	2	7								
6 Enalish	ANG	0	2	7	7	2	Z	Z	7	2	Z	
7 Basics of business law	PPB	_	2		Z							
8 Mathematical analysis1	AM1	2	2		พ							
9 Computer networks	SKO	2	2		ш					+		
10 Algorithms and data stracters	ASD	2	2		ıu			-				
11 Programming2	PRG2	2	2		w							
12 Basic accounting	FPG	-	2			Z						
13 Relational databases	RBD	ح	2			u.						
14 Mathematical analysis 2	AM2	2	2									
15 Programming3	PRG3	٥	2			3						
16 Operation system and basic application	SOP	7	2			7					-	
17 Electronics	ELK	2	ω				Щ					
18 Selected applications of telecommunications	SBD	2	2									
19 Computer graphics	GRK	33	2				LLI	-				
20 Statistical data analysis	SAD	2	ત્ય				7					
21 Planning and analysis of information systems	ANS	2	73					E				
22 Designing of information systems	PRI	2	2					uυ				
23 Multimedia	MUL	2	2					w				
24 Digital techniques	TEC	2	2					7				
25 Creation, Integration and testing of information systems	WYT	2	2						ш			
26 Dialog systems	SYD	2	2						JJ.			
27 Security of information systems	BSI	2	2						ш			
28 Project (A, B, C, D, E i F)	PRO	2	2						7			
29 Artificial intelligence tools	AA	2	2							w		
30 Planning, organization and project management	POZ	~	2							ш		
Lectures for each speciality						·						
1 Monographic lecture for A specialization		2	~					ш				
Mangement accounting and cost calculation	RZR		-									
2 Monographic lecture for B, Cspecialization		2	2					ω U				
Computer networks2	SK02		,					ı				
3 Monographic lecture for D,E,F specialization	-	7	7					i)				
Intelligent control systems	2								l.			
Company taxation	POD	Ţ	J									
S Monographic lecture for B.C specialization		~	2						ı			
Advanced operation systems	OSZ											
6 Monographic lecture for D.E.F specialization		2	2						E			
Conventional & unconventional method of inferences	KNW										• •	
												1
Weekly hours of lectures in semester				ထ	7	7	ω	ω	10	8	ব	
Weekly hours of practises in semester				12	10	12	10		12	01	ထ	
: Weekly, leature's loading for students in semester				20	17	20	18	61	22	18	10	
				J				***************************************	A			

Published Issue

Textbooks published in JFY 1996

		LONIDOUING PROTICINA GERMAN TO A COLONIA					
		91+1L	Author	No. of Copies	Delivery for	Fields	Published Date
		Y T Y					
4	-	Object-oriented Software Engineering(translation)	I.Jacobson et al.	150	Staff, Students	System Design	20.Mar.97
Course A		Coloci-oriogness and market of the colocions of the coloc		,			
<u>.</u>			100	▼	Staff, Students, Seminar attendants	Parallel Processing	20.Mar.97
Course B		1) PVM 3 User's Guide & Reference Manual	Al Gelst et al.	201		0	
					Staff, Students,	Parallel	(((((((((((((((((((
	(2) C.mercommiting & Scientific Visualisation	S.Ido	100	Seminar attendants	Processing	24.Mar.97
	1	Supercomplaints a constant of the control of the co					
					Staff, Students,	-04	1
(*	(English Version)	S.Yamane et al.	100	Seminar attendants	Robotics	27.Mar.97
Conrse	_	IIIII Oddenii to Coman Discompletica Paragrama					

Textbooks published in JFY 1997

Course A1)TitleAuthorNo. of CopiesDelivery forFieldsPublished ICourse B1)201 Principles of systems DesignA.M.Davis4.M.Davis4.0. of CopiesStaff,StudentsSystem Design26.Mar.98Course B1)CG-All about A 33 Matrix in GeometryS.Shimada540Staff,StudentsMath. CG30.Mar.98Course C1)Introduction to Control Systems(Polish Version)S.Yamane et al.300Seminar attendantsRobotics26.Mar.98			Leature published in the first					
metry A.M.Davis 300 Staff,Students System Design s.Shimada 540 Staff,Students Math. CG Staff,Students Staff,Students, Staff,Students, olish Version) S.Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics			() + () () () () () () () () () () () () ()	Author	No. of Copies	Delivery for	Fields	Published Date
metry S.Shimada 540 Staff,Students Math. CG Solish Version) S.Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics			OTT T					
metry S.Shimada S.Shimada Staff,Students Math. CG Staff,Students, Staff,Students, S.Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics	Δ σομιτού	1	201 Principles of systems Design	A.M.Davis	300	Staff, Students	System Design	26.Mar.98
S.Shimada 540 Staff,Students Math. CG Staff,Students, S.Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics	Control		The state of the s					
Staff,Students, S. Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics	, r	-	CO All about A 33 Matrix in Geometry	S.Shimada	540	Staff, Students	Math. CG	30.Mar.98
Staff,Students, S.Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics	Course B		CG-All about A 33 Math A in Comes,					
S. Yamane et al. 300 Seminar attendants Robotics				-		Staff, Students,		
		-	Introduction to Control Systems(Polish Version)	S. Yamane et al.	300	Seminar attendants	Robotics	26.Mar.98
	Compe	/ -	Innounced to come a special control of the control					

Textbooks published in JFY 1998

d Date	Q	2
Published Date	21 Mar 00	J. Lyrai.
Fields		Kopones
Delivery for	Staff,Students,	Seminar attendants
No. of Copies		200
Author	Robotics Laboratory of	PIIIT
	Course C 1) Proceedings of International Conference on Intelligent	Techniques in Robotics, Contol and Decision Making
	Con	

Textbooks published in JFY 1999

	Title	Author	No. of Copies	Delivery for	Fields	Published Date
Course C 1	Small Mobile Robot System	S. Aoshima	200	Staff,Students	Robotics	10.Nov.99

巻末資料 16. セミナー開催実績

1996
in JFY
organized
Seminars

	ļ								
		Title of the Seminars	Date	Place	Place Attendants Number	Number	Lecturer Equipments	Equipmen	s
4 000000	<u> </u>	s antionion of Patentel for Education	8.Mar.97	8.Mar.97 Room 14 Students	Staff, Students	22	Prof.Skowron Prof.Ido 7 et al.	P.C. 0.H.P.	O.H.P
o o o		Approximately Statements for instruction of the statement	14.Mar.97	PICT Suff, 14.Mac.97 Room 110 Students	Staff, Students	36	Prof.Polkowski 36 Mr.Tobo et al.	P.C.	O.H.P
Course	1 3	Course C 1 Robotics Conitor	3.Feb.97	3.Feb.97 Room 14 Staff;	Staff; Students	28	Prof.Skowron Prof.Yamane et al. P.C.		0.H.P
Compe		Mary Desiration							ĺ

Seminars organized in JFY 1997

		Title of the Seminars	Date	Place	Place Attendants Number	Number	Lecturer	Equipments
4 67415	2	Natural Language Progressive-Socking for Mechanical Translation	13.Mar.98 Room 110 Student	PJICT Room 110	Staff, Students	23	Prof.Kotowski 23 Prof.Shimada et al.	P.C. O.H.P. LCD Projector
ı.	=	2nd Lithline dis Continue	A.Mar.98 Room 110 Students	PJICT Room 110	Stuff, Students	40	Prof.Czyzewski 0 Prof.Kondo et al.	P.C. O.H.P. LCD Projector
<u> </u>	2	2) 2nd Parallel Committee Senitiat	PUCT Staff,	PHCT Room 110	Staff, Students	- 4	Mr. Takakashi	Super Computer P.C.
ر	2	owner Comiting	S.Dec.97 Room 204 Shadenis	PJICT Room 204	Staff, Students	30	Prof.Polkowski 0 Prof.Kaneko et al.	P.C. O.H.P. V.C.R.

eminars in JFY 1998

		Title of the Seminars	Date	Place	Place Attendants Number	Number	Lecturer	Equipments
Course A	2	ist Dainhase Senniar	24.Feb.99 PJICT	PICT	Staff, Students	29	Prof.Banachowski 29 Prof.Osawa et al.	P.C. O.H.P. LCD Projector
	=	3et Multimeds Seminar	27.Mar.99 PJICT	PIICT	Staff, Students	15	Prof.Czyzewski 5 Prof.Tsuji et al.	P.C. O.H.P. LCD Projector
Course B	5	Cenne B 31 led Parallel Committee Sominar	27.Mar.99 P11CT	PIICT	Staff, Students	25	Prof.Tudny Prof.Higashi et ul.	P.C. O.H.P. LCD Projector
Course C	2	*	1999/2/ 22-23 PJICT	PJICT	Staff, Students	64	Prof.Szczuka 64 Prof.Aoshima et al.	P.C. O.H.P. LCD Projector

Seminars in JFY 1999

	L	Title of the Seminars	Date	Place	Attendants Number	Mumber	Lecturer	Equipments
Counce	-	Part Damber Seminar	2000/3/28 Others	PJICT	Staff, Students	101	Prof. Banachowski 101 Prof. Osawa et al	P.C. O.H.P. LCD Projector
C and	2	1) Ard Multimedia Seminar	25.Jun.99 PJICT	PJICT	Staff, Students	25	Prof.Czyzewski 25 Prof.Higashi et al.	I.C. O.H.P. LCD Projector
Course B	2	2) 4rd Paraltel Communing Seminor	22.Jan.00 PJICT	рлст	Staff, Students	29	Prof.Tudraj 9 Prof.Tsujiet al.	P.C. O.H.P. LCD Projector
		3.) der Bedestier Cerniner Curracsian	3.Sen.99	Manngha Centre	Staff, Students	64	Prof.Polkowski 9 Prof.Aoshima et al.	P.C. Robots, LCD Projector
College	2	Course (* 2) Rehatisc Demonstration	1999/9/ 20-22 PUCT	PJICT	Staff, Others, Students	500	Prof. Polkowski 500 Prof. Aoshima et al.	P.C. Robots, LCD Projector

Seminary in IRV 2000

		Title of the Seminus	Date	Place	Attendants	Number	Lecturer	Equipments
	L		Sometimes in a		Staff,		Prof. Banachowski	P.C. O.H.P.
Course A	2	3rd Database Seminar	year	PJICT	Students		Prof. Toho et al.	LCD Projector
	L		20000/10/5-6		Staff,		Prof. Yonekura	P.C. O.H.P.
	2	Srd Multimedia Seminar	other	PIICT	Students		Prof.Synok et al.	LCD Projector
	L				Staff,		Prof.Y oshizawa	P.C. O.H.P.
Course B	3	Set Parallel Compating Seminar	Jan.01	PIICT	Students		Prof.Tudnaj et al.	LCD Projector
			_		Staff,		Prof.Humamatsu	P.C. O.H.P.
Course C	2) Sed Rebratics Seminar	j 20000/10/5-6 [FJICT	FUCT	Students		Prof. Polkowski et al.	LCD Projector

The place of work for students from PJIIT

LP -	FIRM	POSITION	ACTIVITY
1.	Advertising Agency	Computer graphics designer	
2.	ADGAM	manager of helpdesk and outsourcing group	Petrol base
3.	POLYMUS Advertising Agency	Art Director	
4.	ALCODE	trainer	Software designing and business training
5.	ANCORA PLUS*	Firm owner	Advanced internet servers and consulting
6.	APEXIM S.A.	Integration of IT systems	
7.	ATI S.C.	Software implementation specialist	Office software producer
8.	BRE(Bank Rozwoju Exportu)	Consultant	
9.	Budex-Intrasoft	IT specialist	Computer networks, equipment, hardware
10.	BULL		
11.	IT Promoting Centre	Computer graphics designer	
12.	Commercial Union Poland	Equipment specialist	
13.	CONET	Partner	Computer networks, service, training, sales
14.	Citibank S.A.		
15.	DAEWOO DACOM COMMUNICATIONS	Manager of sales systems department	IT company
16.	DAEWOO FSO	Computer network administrator	
17.	DATALINE		Internet

The place of work for students from PJIIT 24.10.2000.

18.	DROXI	AS/400 Administration	Drugstore chain
19.	DUET H&H*	Manager of the company	Computer networks
20.	DYNAMIC software Sp. z o.o.	Chief programmer	Development of electronics and software
21.	EDEN Technology S.C.		
22.	ERICSSON	Computer programmer	
23.	EVIP	Computer networks administrator	
24.	FORMUS Poland	Chief IT specialist	Provider of internet services
25.	Gazeta Internetowa	Company owner	Internet services
26.	Gartner Group Poland/ IMA Regus-Warsaw Financial Centre	Company owner	
27.	IML .	Database Administrator	Motorization
28.	InfoVide	Consultant	
29.	Instytut Badania Opinii i Rynku Pentor S.A.	Computer network administrator	
30.	KRUS- head office	·	
31.	Krajowa Rada Radiofonii i Telewizji	Computer systems and database consultant	
32.	McKinley	Surveyor	Public opinion polls
33.	Microsoft	Software junior specialist	
34.	Ministerstwo Finans w	Database designer	
35.	NASK (Scientific and Academic computer network)		
36.	NIK	Computer systems administrator	
37.	OCE	Colours specialist	Office equipment retailing

The place of work for students from PJIIT 24.10.2000.

38.	Optimus	IT programmer	
39.	Philip Morris Poland		
40.	PJWSTK (PJIIT)	Computer networks administrator	
41.	PKO BP.	Manager of the IT team	
42.	PKO BP. S.A.	IT specialist responsible for cash dispenser networks	
43.	PLL LOT S.A.	NT administrator	
44.	Point Ot. View	Computer programmer	Internet application and designing WWW pages
45.	Polkomtel PLUS GSM	Computer programmer	
46.	Polskie Radio S.A.	IT specialist in multimedia department	·
47.	Prokom Software S.A	Analyst- designer	
48.	Publishing Institute	DTP specialist	Computer graphics
49.	RADCOMP S.A.		
50.	S.C. Intrasoft		Databases
51.	Siemens Sp. z o.o.	Computer network administrator	
52.	TELBANK	Consultant — programmer	
53.	TIMSI*	Programmers, consultants, sales staff	Development and upgrading of information systems
54.	UNiSYS Poland		
55.	United Transfer	Consultant	
56.	Zak∏ady Energetyczne	IT specialist	
57.	Telebank	Consultant- programmer	
58.	TIMSI	Programmers, consultants salesman	Creating and upgrading information systems

The place of work for students from PJIIT 24.10.2000.

59.	UNISYS POLSKA		
60.	United Transfer	Consultant	
61.	Urzàd Gminy w Raszynie	Webmaster	Administration
62.	WEISHAUPT		Industrial equipment
63.	XV L.O. in Warsaw	Information teacher	Education
64.	Zak∏ady Energetyczne	IT Specialist	

^{*} Founder and owner is student/school-leaving student PJIIT.

The Polish-Japanese Institute of Computer Techniques Project

帰国専門家への質問票

派遣時担当分野:

014557	
スーパーコンピュータ	2 28.6%
マルチメディア	1 14.3%
ロボティクス	3 42.9%
チーフアドバイザー	1 14.3%
숨計	100.0%

PART 1:投入の効率性について

JICA の協力による投入について、以下の項目別に 4 段 階で評価してください。該当するレベルのところに○を つけてください。特に<u>あなたの関係する分野</u>についてお 答えください。

1. 教育プログラム作りについて 1-1 ポーランド C/P の投入

	1)人数	2) 派遣期間	3) 専門性	4) タイミング	5) 語学力
	1	1	1	1	3
大変満足	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	42.99
	6	5	5	4	1
満足	85.7%	71.4%	71.4%	57.1%	57.1%
	0	1	1	5	
どちらでもない	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	0.09
	0	0	0	0	(
不満足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.09
A	7	7	7	7	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09

1-2 C/P 研修の受入

	1) 人数	2) 派邊期間	3) 専門性	4) タイミング	5) 語学力
1 + 4 5	2	2	1-	1	2
大変満足	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%
	3	3	4	5	5
満足	42.9%	42.9%	57.1%	71.4%	71.4%
	2	2	2	1	0
どちらでもない	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%
	0	0	0	0	0
不満足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	7	7	7	7
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2. 指導書・教材作りについて 2-1 ポーランド C/P の投入

	1) 人数	2) 深邊期期	3) 専門性	4) タイミング	5) 語学カ
	1	1	1	1	2
大変溝足	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%
46	6	6	6	6	5
満足	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	71.4%
	Ö	0	0	0	0
どちらでもない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	C	0	0	0	0
不满足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	7	7	7	7
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2-2 C/P 研修の受入の投入

	1) 入数	2) 派遣期間	3) 専門性	4) タイミング	5) 語学力
	1	3	i	1	3
大変満足	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%
	5	5	5	5	[6
満足	71.4%	71.4%	71.4%	71.4%	85.7%
	1	1	1	1	
どちらでもない	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.09
	- 0	0	0	0	
不満足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.09
	7	7	7	7	7
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09

3. ラボの整備について

3-1 機材の投入

	1) 供与機材 の種類	2) 供与機材 の量	3) 機材投入 のタイミング
大変満足	28.6%	28.6%	28.6%
溝足	57.1%	71.4%	28.6%
どちらでもない	14.3%	0.0%	14.39
不満足	0.0%	0.0%	28.6%
合計	7 100.0%	100.0%	100.0%

3-2 日本人専門家の投入

	1) 人數	2) 派遣期間	3) 奪門性	4) タイミング	5) 額学カ
	2	2	1	1	1
大変溝足	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%
	5	5	2	3	5
满足	71.4%	71.4%	28.6%	42.9%	71.4%
	0	0	4	3	1
どちらでもない	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	14.3%
	0	0	0	0	
不満足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	7	7	7	7
合計	100,0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-3 ポーランド C/P の投入

	1) 人数	2) 深運開閉	3) 顕像内容	4) タイミング
	1	1	1] 1
大変満足	14.3%	14.3%	14,3%	14.3%
	5	5	5	6
満足	71.4%	71.4%	71.4%	85.7%
	1	1	1	, o
どちらでもない	14.3%	14,3%	14,3%	0.0%
	0	0	Ö	0
不満足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	7	7	7
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3-4 C/P の研修員受入

	1) 人數	2) 派遣期間	3) 研修内容	4) タイミング
	2	2	2	2
大変清定	28.6%	28.6%	28.5%	28.6%
	5	4	3	3
满足	71,4%	57.1%	42.9%	42.9%
	0	3	2	2
どちらでもない	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%
	0	0	0	0
不满足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	7	7	7
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4. ニーズ調査実施について

4-1 日本人専門家の投入

	1) 人數	2) 深建期間	3) 専門性	4) タイミング	5) 語学力
	Ö	0	0	o	
大変為足	0.0%	0.0%	0.0%	0.096	14.39
	6	6	4	5	5
満足	85.7%	85.7%	5 <u>7.1%</u>	71.4%	71.45
***	1	1	3	2	1
どちらでもない	14,3%	14.3%	42.9%	28.5%	14.39
	o	0	0	0	(
不満足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.09
	7	7	7	7	1
솜밥	100.0%	100.0%	100.0%	100,0%	100.09

4-2 ポーランド C/P の投入

	1) 人數	2) 遺性	3) タイミング
大変満足	0.0%	0.0%	0.0%
满定	85.7%	100.0%	85,7%
どちらでもない	14.3%	0.0%	1 14,3%
不満足	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100,0%	7 100.0%

5. 管理運営面の強化について

5-1 日本人専門家の投入

	1) 人数	2) 派遣期間	3) 専門性	4) タイミング	5) 語学力
大変満足	1	1	1	1	2
/ W.M.	14,3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%
満足	3	1 4	4	5	4
MAC	42.9%	57.1%	57.1%	71,4%	57.1%
どちらでもない	3	2	2	1	Ĩ
COOCOAN	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%
不満足	0	0	0	0	0
T-44.	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	7	7	7	7
tz e I	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

5-2 ポーランド C/P の投入

	1) 人数	2) 遺性	3) タイミング
大変満足	Ö	0	0
八五萬足	0.0%	0.0%	0.0%
漢足	6	5	6
典ル	85.7%	71.4%	85.7%
どちらでもない	1	2	1
Coocoan	14,3%	28.6%	14.3%
不満足	0	0	0
作例是	0.0%	0.0%	0.0%
合計	7	7	7
Au:	100.0%	100.0%	100,0%

5-3 C/P の研修員受入

	1) 人数	2) 茶邊期間	3) 研集内容	4) タイミング
大変満足	0	O	0	0
八姓與北	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
満足	7	6	5	5
押 止	100.0%	85.7%	71.4%	71.4%
どちらでもない	0	1	. 2	2
とうらくもない	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%
不満足	0	0	0	0
个相处	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	7	7	7	7
1911	100.0%	100,0%	100.0%	100.0%

Questionnaire to the Counterparts

Course name you belong to:

Database and software engineering (A)	3
	16.7%
Systems and network programming(B)	0.0%
Paratel programming and supercomputers (C)	11.1%
Knowledge discovery and artificial intelligence(D)	5.6%
Multimedia and 3D animation(E)	2 11.1%
Robotics and multiagent systems(F)	3 16.7%
Basic education	3 16.7%
Vice president	3 16.7%
No answer	1 5.6%
Total	18
1000	100.0%

PART 1: About Efficiency of Input

Please evaluate the efficiency of the following 5 items in your responsible field in terms of JICA's input such as <u>dispatch of the Japanese long-term and short-term experts</u>, equipment, <u>Polish counterparts</u> and <u>acceptance of Polish counter parts for Training in Japan</u>. Please check a circle in four levels for each item.

1. About developing Education program

1-1 Input of Japanese long-term experts

	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing of dispaches	5) English abilities
	12	13	10	12	11
Very satisfied	66.7%	72.2%	55.6%	66.7%	61.1%
	3	2	6	4	5
Satisfied	16.7%	11.1%	33.3%	22.2%	27.8%
	2	2	2	2	2
Not applicable	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
	1	1	0	0	
Not satisfied	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
·	18	18	18	18	18
Totai	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

1-2 Input of Japanese short-term experts

	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing	5) English abilities
	12	- 11	12	11	8
Very satisfied	66.7%	61.1%	66.7%	61.1%	44.4%
	4	5	5	6	9
Satisfied	22.2%	27.8%	27.8%	33.3%	50.0%
	1	1	1	1] 1
Not applicable	5.6%	5.6%	5.6%	5,6%	5,6%
	1	1	0	0	
Not satisfied	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.09
	18	18	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100,0%

2. About developing teaching guidance and materials

2-1 Input of Japanese long-term experts

-	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing	 5) English abilities
Very satisfied	11 61.1%	11	11 61.1%	11 61.1%	12 66.7%
Satisfied	3 16.7%	3	5	3 16.7%	22.2%
Not applicable	3 16.7%	3 16,7%	11.1%	3 16.7%	11.1%
Not satisfied	5,6%	5,6%	0.0%	5.8%	0.0%
Total	18 100.0%	1	1	1	

2-2 Input of Japanese short-term experts

	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing	 English abilities
	10	9	9	9	10
Very satisfied	55.6%	50.0%	50.0%	50.0%	55.6%
	3	4	7	5	6
Satisfied	16.7%	22.2%	38.9%	27.8%	33.3%
Not applicable	2	2	2	2	2
	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
	3	2	0	2	0
Not satisfied	16.7%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
	T	1	0	0	0
No answer	į.	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	18	18	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. About equipment in the seven laboratories

3-1 Inputs of equipment in the laboratories

	Kinds of equipment	Quartity of equipment	Timing of input
	13	10	13
Very satisfied	72.2%	55.6%	61.1%
	5	6	7
Satisfied	27.8%	33.3%	38.9%
	0	1	0
Not applicable	0.0%	5.6%	0.0%
	0	1	0
Not satisfied	0.0%	5.6%	0.0%
Total	18	18	18
	100.0%	100.0%	100.0%

3-2 Input of Japanese long and short term experts

	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing	5) English abilities
	11	11	12	11	10
Very satisfied	61.1%	61.1%	66,7%	61,1%	SS.6%
	5	5	4	4	7
Satisfied	27.8%	27.8%	22.2%	22.2%	38.9%
	1	1	2	1	1
Not applicable	5.6%	5.6%	11.1%	5.6%	5.69
	1	. 1	0	1	1
Not satisfied	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	0	0	Ö	1	
No suzwez.	0.0%	0.096	0.0%	5.6%	0.09
	18	18	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09

3-3 Acceptance of trainees in Japan from counterpart

	1) Numbers	Duration of training	3) Contents of training	4) Timing	
Very satisfied	10 55,6%	12 66,7%	12 66.7%	रा 61.1%	
Satisfied	4 22.2%	3 16.7%	11.1%	22.2%	
Not applicable	3 16.7 <u>%</u>	3 16,7%	4 22.2%	3 16.7%	
Not satisfied	1 5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
Total	18 100.0%		18 100.0%	1	

4. About survey of demands for computer engineers in Poland

4-1 Input of Japanese long and short term experts

	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing	5) English abilities
	4	5	5	5	4
Very satisfied	22.2%	27,8%	27.8%	27.8%	22.2%
	7	6	6	6	7
Satistied	38.9%	33.3%	33.3%	33.3%	38.9%
	3	4	- 4	4	3
Not applicable	16.7%	22.2%	22.2%	22.2%	16.7%
	Ö	0	Ö	0	1
Not satisfied	0.0%	0.0%	0.0%	0,0%	5.6%
	4	3	3	3	
No answer	22.2%	16.7%	16.7%	16.7%	16.79
Total	18	18	18	18	18
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.09

4-2 Input of Polish counterparts

	1) Numbers	2) Aptitude	3) Timing
Very satisfied	4	5	4
very satisfied	22.2%	27.8%	22.2%
Satisfied	9	8	9
Saustieu	50.0%	44.4%	50.0%
Mat conlinable	2	2	2
Not applicable	11.1%	11.1%	11.1%
Not satisfied	0	0	C
MOL SEDSIFED	0.0%	0.0%	0.0%
No answer	3	3	3
140 answer	16.7%	16.7%	16.7%
Total	18	18	18
TULAI	100,0%	100.0%	100.0%

5. About reinforcement of management of the Institute

5-1 Input of Japanese long and short term experts

	1) Numbers	2) Duration of dispatch	3) Specialities	4) Timing	5) English abilities
Very satisfied	8	9	9	9	10
very satisfied	44.4%	50.0%	. 50.0%	50.0%	55.6%
Satisfied	4	3	3	3	2
Satisfied	22.2%	16.7%	16.7%	16.7%	11.1%
Not applicable	5	5	5	5	5
Not applicable	27.8%	27.8%	27.8%	27.8%	27,8%
Not satisfied	0	0	0	0	0
Not sausiled	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ma annuar	1	1	1	. 1	1
No answer	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%
~ · ·	18	18	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

5-2 Input of Polish counterparts

	1) Numbers	2) Aptitude	3) Timing
Very satisfied	9	10	8
very satisfied	50.0%	55.6%	44.49
Satisfied	3	2	4
Satisfied	16.7%	11.1%	22.2%
Not applicable	5	5	3
	27.8%	27,8%	27.8%
Not satisfied	٥	0	
1401 24021 EO	0.0%	0.0%	0.0%
No conce	1	. 1	1
No answer	5.6%	5.6%	5.6%
	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%

5-3 Acceptance of trainees in Japan from counterpart

	1) Numbers	2) Duration of training	 Contents of training 	4) Timing
Very satisfied	9	10	10	9
very satisfied	50.0%	55.6%	55.6%	50.0%
Satisfied	3	2	2	3
Satisfied	16.7%	11.1%	11.1%	16.7%
Not applicable	5	5	. 5	5
иот аррисарие	27,8%	27.8%	27.8%	27.8%
Not satisfied	0	0	0	0
NOT STORTING	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
No seemen	1	1	1	1
No answer	5.6%	5.6%	5.6%	5,6%
T1	18	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

PART 2: About educational effectiveness at the Institute

6. Do you think the educational program here satisfy the demands for the industries seeking computer specialists? Please evaluate the following items by circling one level.

	1) Basic	2) Specialized	
	course	COLFSE	Laboratories
Very Useful	17	15	15
very oserui	94.4%	83.3%	83.3%
Usefui	1	3	2
Oseita	5.6%	16.7%	11.1%
Not applicable	0	0	0
	0.0%	0,0%	0.0%
Not useful	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%
Ma amazza	0	Ö	1
No answer	0.0%	0.0%	5.6%
-	18	18	18
Total	100.0%	100.0%	100.0%

7. Do you follow up graduate's career from your course or laboratory?

incontrol y	•
①Yes	14
COTES	77.8%
@No	3
(E)/10	16.7%
No answer	1
NO SUISVYCE	5.6%
Total	18
s otal	100.0%

8. Do you think you understand the current industry's demands for computer specialists?

①Yes	17
(L) les	94.4%
@No	0
(2)140	0.0%
No answer	1
INO STISME	5.6%
Total	18
1002	100.0%

PART 4: About training in Japan

(Please answer the following questionnaire if you received the training courses in Japan.)

11.Is the training you received in Japan useful for you? Please answer the 3 items described bellow in accordance with 4 different evaluation levels. And also please describe the reasons

	Contents of the training	2) Length of training	3) Timiling of training
Very satisfied	11	6	10
very satisfied	84.6%	46.2%	76,9%
Satisfied	2	7	2
Sansned	15.4%	53.8%	15.4%
- 	0	0	C
Not applicable	0.0%	0.0%	0.0%
hina and minding	0	0	C
Not satisfied	0.0%	0.0%	0.0%
No operator	0	0	1
No answer	0.0%	0.0%	7.7%
Total	13	13	13
1 orat	100.0%	100.0%	100.0%

Questionnaire to the Students of PJICT

(Please answer by either placing a circle or describing and send it back to the address on the last page by December 3rd, 2000)

PART 1: About yourself

1. Sex

		41
1)	Male	85.4%
2)	Female	7
	1 Citiato	14.6%
Tot	at	100.0%

2. Age (if you don't mind)

	22
19~21	45.8%
	19
22~24	39.6%
25以上	6
25 J. F.	12.5%
No occupa] 1
No answer	2.1%
T-+-!	48
Total	100.0%

3. What course do you attend now?

3-1. Course

Database and software	4
engineering	8.3%
2) Systems and network	11
programming	22.9%
3) Parallel programming and	5
supercomputers	10.4%
4) Knowledge discovery and artificial	3
intelligence	6.3%
	3
5) Multimedia and 3D animation	6.3%
0) D	1
6) Robotics and multiagent systems	2.1%
->	21
7) Basic education	43.8%
- 4 1	48
Total	100.0%

3-2. Day or evening classes

1)Day classes	28
	58.3%
	16
2) Evening classes	33.3%
No answer	4
	8.3%
	48
Total	100.0%

4. How did you know about PJICT? (Circle one)

at B. P. Santa Caratte	4.00
 By media including the 	16
magazines of college information.	33.3%
2) Introduction by teachers of the	. 0
high school.	0.0%
3) Introduction by friends or people	26
surrounding you.	54.2%
4) Others (Please specify:	6
).	12.5%
	48
Total	100.0%

5. Why did you decide to enter PJICT? (You may

circles more than one)

Micros more man one,	
1) thought could get practical skills	38 79.2%
2)I thought I could get high level Knowledge	32 66.7%
3)I thought I could get advantage in job market	24 50.0%
4)I thought there would be good faculty member	7 14.6%
5)Because it has the advanced equipment.	26 54.2%
6)Because it has evening classes	9 18.8%
7)Because others recommended it to me	5 10.4%
8)Because it is unique institute having relationship with JAPAN	10 20.8%
9)Others	12 25.0%
Total	163 339.6%

6. What do you think some of your former classmates

who dropped out left from PJICT?

	10
6~1)Because they got a good job.	20.8%
6-2)Because it was difficult and needed so long time	16
for them to take credits for subjects.	33.3%
6-3) Because tuition of PJICT was too expensive so	25
that they could not afford.	52.1%
o din a di	6
6-4)Because they changed their career plan.	12.5%
6-5)Because they felt education of PJICT was not	7
useful for their career.	14.6%
	13
6-6)Others	27.1%
	. 77
Total	160.4%

PART 2: About the educational program at PJICT

7. Please evaluate the following items concerning the educational program at PJICT in four levels by circling one each

	Very Useful	Useful	Not applicable	Not useful	No answer	Total
Overall educational	7	29	5	4	3	48
program	14.6%	60.4%	10.4%	8.3%	6.3%	100.0%
Textbook, materials	1	21	13	8	5	48
	2.1%	43.8%	27.1%	16.7%	10.4%	100.0%
Basic course	6	23	8	7	4	48
	12.5%	47.9%	16.7%	14.6%	8.3%	100.0%
Specialized courses	6	16	6	5	15	48
	12.5%	33.3%	12.5%	10.4%	31.3%	100.0%
Laboratories	16	16	6	6	4	48
	33.3%	33.3%	12.5%	12.5%	8.3%	100.0%
Equipment in the	14	19	6	5	4	48
laboratories	29.2%	39.6%	12.5%	10.4%	8.3%	100.0%
Teaching skill of the	8	25	7	5	3	48
faculty member	16.7%	52.1%	14.6%	10.4%	6.3%	100.0%
Others	1	2	3	3	39	48
	2.1%	4.2%	6.3%	6.3%	81.3%	100.0%

PART 3: About your part-time job

(Please answer the following questions if you have a job

now.)

Working	31 64.6%
Not working	17 35.4%
Total	48 100.0%

8. Where is your work place?

1) In or suburb of Warsaw	30 96.8%
2) Others	3.2%
Total	31
	100.0%

9. What type of industry does your company belong to?

1) Computer Hardware Producers	6 19,4%
2) Computer Software Producers	11 35.5%
3) Internet Providers	5
4) System Integrators	16.1% 6
4) Oystell like grad (3	19.4%
5) Telecommunication Equipment Producers	0.0%
6) Telecommunication Operators	3 9.7%
7) Other Manufactures (Please specify:)	2 6.5%
8) Media (Publishers, Broadcasters, Film, Recording)	4 12.9%
9) Professional Services (Accounting, Consulting, Law, Advertising)	0.0%
10) Finance (Bank, Insurance, Leasing, Stock Brokers, Investors, Fund)	3 9.7%
11) Business Services (Catering, Office Equipment &	1
Furniture, Printing, Fairs)	3.2%
12) Construction & Real Estate	1
	3.2%
13) Trade & Political Organization	0.0%
14) Transportation & Cargo Services	3.2%
15) Travel & Entertainment	0.0%
16) Education	1
	3.2%
17) Personal Services (Health care)	1 3.2%
18) Governmental Organization	0.0%
19) Others	12.9%
Total	49
10164	158.1%

10. In which field are you responsible?

System Integrator and/or Consultant (Project Manager)	8 25.8%
System Administrator and/or Manager (Host, Network)	7 22.6%
3-1) Software Designer and/or Developer	13 41.9%
3-2) Network Designer and/or Developer	5 16.1%
3-3) Web Designer and/or Developer	10 32.3%
3-4) CAD/CAM Designer and/or Developer	0.0%
3-5) Computer Graphics and/or Animation Designer and/or Developer	7 22,6%
4) System Operator (Host, Network)	4 12.9%
5) System Maintenance (Hardware and/or Basic Software)	5 16.1%
6) Sales Engineer (Hardware and/or System)	2 6.5%
7) Customer Services	2 6.5%
8) Instructor and/or Lecturer on Training.	5 16.1%
9) Researcher and/or Developer	3 9.7%
10) Business Manager and/or Administrator	1 3,2%
11) Others	6.5%
Total	74 238.7%

11. How did you find the job? (Circle one)

1) PJICT or the faculty introduced	1
me	3.2%
2) Job market magazine or news	10
paper	32.3%
3) Any other organizations which	4
introduce jobs	12.9%
	7
4) Introduction by the acquaintances	22.6%
	8
5) Others	25.8%
	1
No answer	3.2%
	31
Total	100.0%

12. Do you think the educational program in PJICT is useful for your part-time job? Please evaluate the following items in four levels by circling one each.

	Very Useful	Useful	Not applicable	Not useful	No answer	Total
Overall educational	6	11	5	3	6	31
program	19.4%	35.5%	16.1%	9.7%	19.4%	100.0%
Textbook, materials	1	6	8	10	6	31
	3.2%	19.4%	25.8%	32.3%	19.4%	100.0%
Basic course	4	10	6	5	6	31
	12.9%	32.3%	19.4%	16.1%	19.4%	100.0%
Specialized courses	5	7	4	6	9	31
•	16.1%	22.6%	12.9%	19.4%	29.0%	100.0%
Laboratories	7	7	4	8	5	31
	22.6%	22.6%	12.9%	25.8%	16.1%	100.0%
Equipment in the	6	10	4	6	5	31
laboratories	19.4%	32.3%	12.9%	19.4%	16.1%	100.0%
Teaching skill of the	0	12	9	5	5	3
faculty member	0.0%	38.7%	29.0%	16.1%	16.1%	100.09
Others	0	0	1	3	27	3
	0.0%	0.0%	3.2%	9.7%	87.1%	100.09

13. Have you ever thought that the education in PIICT has contributed in your work such as improving computer environment in your company or office, developing new technology, or in your daily work? Please describe, if any.

1 icase describe, it an	·
	11
1) Yes	35.5%
	16
2) No	51.6%
	4
No answer	12.9%
Total	31
	100.0%

14. Do you think your company is progressed with

27
87.1%
2
6.5%
2
6.5%
0
0.0%
0
0.0%
0
0.0%
0
100.0%

Questionnaire to the Graduates from PJICT

(Please answer by either placing a circle or describing and send it back to the address on the last page by December 3rd, 2000)

PART-1: About yourself

1. Sex

1)	Male	34 94.4%
2)	Female	2 5.6%
Tot	al	36 100.0%

2. Age (if you don't mind)

22~24	25
	69.4%
25以上	10
255.1	27.8%
No answer	1
	2.8%
Total	36
Totas	100.0%

3. When did you attend PJICT?

From

1994	3
1004	8.3%
1995	7
	19.4%
1996	21
	58.3%
1997	4
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	11.1%
1998	1
	2.8%
Total	36
	100.0%

4. What course did you attend?

4-1. Course

Database and software	13
engineering	36.1%
2) Systems and network	12
programming	33.3%
3) Parallel programming and	1
supercomputers	2.8%
4) Knowledge discovery and artificial	Ö
intelligence	0.0%
5) Multimedia and 3D animation	6
5) Miditimedia and 5D amimation	16.7%
6) Robotics and multiagent systems	1
of Robotics and multiagent systems	2.8%
7) Basic education	1
7) basic education	2.8%
No answer	2
NO ARSWEI	5.6%
Total	36
1000	100.0%

4-2. Day or evening classes

	24
1) Day classes	66.7%
2) Evening classes	9
Z) Evering Classes	25.0%
No answer	3
	8.3%
Total	36
<u> </u>	100.0%

5. How did you know about PJICT? (Circle one)

- 11011 did you know dood!	13101.
By media including the	16
magazines of college information	44.4%
2) Introduction by teachers of the	0
high school	0.0%
3) Introduction by friends or people	15
around you	41.7%
4) Others (Please specify:	3
)	8.3%
No answer	2
NO at ISWE	5.6%
Total	36
10125	100.0%

6. Why did you decide to enter PJICT? (You may circles more than one)

1)I thought I could get practical skills	31
	86.1%
2)! thought I could get high level	19
Knowledge	52.8%
3)I thought I could get advantage in	23
job market	63.9%
4)I thought there would be good	4
faculty member	11.1%
5)Because it has the advanced	18
equipment.	50.0%
6)Because it has evening classes	2
O/Decados it has everifing classes	5.6%
7)Because others recommended it to	2
me	5.6%
8)Because it is unique institute	10
having relationship with JAPAN	27.8%
9)Others	1
5)Others	2.8%
No answer	0
THE DELIGHTED	0.0%
Total	110
Total	305.6%

7. What do you think some of your former classmates who dropped out left from PJICT?

7-1)Because they got a good job.	12 33.3%
7-2)Because it was difficult and needed so long time	10
for them to take credits for subjects.	27.8%
7-3)Because tuition of PJICT was too expensive so that they could not afford.	18 50.0%
7-4)Because they changed their career plan.	4 11.1%
7-5)Because they felt education of PJICT was not useful for their career.	9 25.0%
7-6)Others	20.03
	5.6%
No answer	1
	2.8%
Total	56
	355.6%

PART 2: About your occupation

(Please answer the following questions if you are

working.)	
	28
Working	77.8%
	8
Not working	22.2%
	36
Total	100.0%

8. Where is your work place?

	28
1) In or suburb of Warsaw	100.0%
	0
2) Others	0.0%
	28
Total	100.0%

9. What type of industry does your company belong to?

. What type of madsay does your company	7
1) Computer Hardware Producers	0.0%
2) Computer Software Producers	12 42.9%
3) Internet Providers	7.1%
4) System Integrators	3.6%
5) Telecommunication Equipment Producers	3.6%
6) Telecommunication Operators	1 3.6%
7) Other Manufactures (Please specify:	1 3.6%
8) Media (Publishers, Broadcasters, Film, Recording)	2 7.1%
Professional Services (Accounting, Consulting, Law, Advertising)	7.1%
10) Finance (Bank, Insurance, Leasing, Stock Brokers, Investors, Fund)	5 17.9%
11) Business Services (Catering, Office Equipment & Furniture, Printing, Fairs)	1 3.6%
12) Construction & Real Estate	0.0%
13) Trade & Political Organization	0.0%
14) Transportation & Cargo Services	0 0.0%
15) Travel & Entertainment	0.0%
16) Education	3 10.7%
17) Personal Services (Health care)	0.0%
18) Governmental Organization	0.0%
19) Others (Please specify:	14.3%
No answer	0.0%
Total	35
	125.0%

10. In which field are you responsible?

7 25.0%
7 25.0%
39.3%
2 7.1%
5 17.9%
1 3.6%
5 17.9%
6 21.4%
2 7.1%
2 7.1%
2 7.1%
1 3.6%
7.1%
7.1%
14.3%
0.0%
59 210.7%

11. How did you find the job? (Circle one)

5
17.9%
10
35.7%
0
0.0%
4
14.3%
8
28.6%
1
3.6%
28
100.0%

12. Do you think the educational program in PJICT is useful for your career? Please evaluate the following

• .		^		•		4	
11eme	រព	tour	PAREL	C DV	circling	one each	
Itomo	111	LUUI	IVYO.	3 0 1	OHOHINE	one caen	٠

toms m rous n	O TOIS O	of circling one cacif.				
	Very Useful	Useful	Not applicable	Not useful	No answer	Total
Overall educational	6	11	5	3	6	31
program	19.4%	35.5%	16.1%	9.7%	19.4%	100.0%
Textbook, materials	1.	6	8	10	6	31
	3.2%	19.4%	25.8%	32.3%	19.4%	100.0%
Basic course	4	10	6	5	6	31
	12.9%	32.3%	19.4%	16.1%	19.4%	100.0%
Specialized courses	5	7	4	6	9	31
	16.1%	22.6%	12.9%	19.4%	29.0%	100.0%
Laboratories .	7	7	4	8	5	31
	22.6%	22.6%	12.9%	25.8%	16.1%	100.0%
Equipment in the	6	10	4	6	5	31
laboratories	19.4%	32.3%	12.9%	19.4%	16.1%	100.0%
Teaching skill of the	0	12	9	5	5	31
faculty member	0.0%	38.7%	29.0%	16.1%	16.1%	100.0%
Others	0	0	1	3	27	31
	0.0%	0.0%	3.2%	9.7%	87.1%	100.0%

13. Have you ever thought that the education in PJICT has contributed in your work such as improving computer environment in your company or office, developing new technology, or in your daily work? Please describe, if any.

1) Yes	15
17 Tes	53.6%
2) No	10
2) NO	35.7%
No anawar	3
No answer	10.7%
Total	28
local	100.0%

14. Do you think your company is progressed with computerization?

•	
Already fairly progressed	20 71.4%
2) Now, getting progressed	14.3%
3) Wished, but not easy	3.6%
4) Just started to make a plan	7.1%
5) Not interested in	3,6%
6) Others (Please specify:)	0.0%
Total	28 100.0%

Questionnaire to Companies

(Please answer by either placing a circle or describing and send it back to the address on the last page by December 3rd, 2000)

Position of respondent or relationship with the graduates from PJICT:

	2
owner	50.0%
Public relation/Marketing	1 25.0%
No answer	1 25.0%
Total	100.0%

Type of industry (Circle one)

Type of industry (Circle one)	
Computer Hardware Producers	0
2) Computer Software Producers	1 25.0%
3) Internet Providers	0
4) System Integrators	0
5) Telecommunication Equipment Producers	0
6) Telecommunication Operators	
7) Other Manufactures (Please specify:)	0
8) Media (Publishers, Broadcasters, Film, Recording)	0
9) Professional Services (Accounting, Consulting, Law, Advertising)	0
10) Finance (Bank, Insurance, Leasing, Stock	1
Brokers, Investors, Fund)	25.0%
11) Business Services (Catering, Office Equipment &	
Furniture, Printing, Fairs)	0
12) Construction & Real Estate	0
13) Trade & Political Organization	0
14) Transportation & Cargo Services	0
15) Travel & Entertainment	0
16) Education	0
17) Personal Services (Health care)	
18) Governmental Organization	0
19) Others	1 25.0%
No answer	1 25.0%
Total	100.0%

We would like to ask the following questions regarding your employees who graduated from the Polish-Japanese Institute of Computer Techniques (PJICT). Please answer by either circling an applicable item or describing.

PART 1: About the graduates

1. Sex of Employee:

1. Bex of Employee.	4
1) Male	100.0%
0) 5	0
2) Female	0.0%
	4
Total	100.0%

2. Name of the course that the employee attended.

2-1. Course

L I. COUIDO	
1) Database and software	
engineering	0
2) Systems and network	1
programming	25.0%
3) Parallel programming and	
supercomputers	0
4) Knowledge discovery and artificial	
intelligence	0
5) 14 Di	1
5) Multimedia and 3D animation	25.0%
	1
6) Robotics and multiagent systems	25.0%
7) Basic education	0
8) I don't know	0
	1
No answer	25.0%
T-1-1	4
Total	100.0%

2-2. Day or evening classes

1) Day classes	3
	75.0%
2) Evening classes	0
3) I don't know	0
No answer	1
	25.0%
Total	4
	100.0%

3. What type of work is the employee engaged in?

J 1	
Business administration using computers	0
2)Development of technology	2 50.0%
3) Constructing of computer networking in your company	0
4)Computer operation (e.g. computer graphics designer)	25.0%
Others	0
No answer	25.0%
Total	100.00
	100.0%

4. Do you think that the educational program in PJICT is useful for his/her present work?

abotal for morner present morning	
5) Yes, it is useful	4
o, 100, 110 and 1	100.0%
6) No, it is not useful.	0
	0.0%
	4
Total	100.0%

PART 2: About PJICT

5. Do you intend to hire graduates from PJICT in the future?

****	1
1) Yes	25.0 <u>%</u>
2) No	0
2) NO	0.0%
3) Not sure	2
a) Not sure	50.0%
No annue	1
No answer	25.0%
Total	4
LOUE	100.0%

